

東芝機械グループ

# CSR報告書 2018

Corporate Social Responsibility Report



The Challenge to  
Promising Future

## Contents

トップメッセージ	2
東芝機械グループの 企業価値・社会価値創造プロセス	3
東芝機械グループの グローバルネットワーク/海外でのCSRへの取り組み	5
特集1 品質向上と環境配慮を旨とした“当社射出成形機”が できるまで	7
特集2 多様な人財が活躍できる職場づくり	9
お客様ニーズに応える進化形製品群	11

## CSRマネジメント

コーポレート・ガバナンス/内部統制システム	13
グループガバナンス/リスク・コンプライアンス管理	13
情報セキュリティ管理/知的財産の尊重と活用	14

## CSRの取り組みテーマ

### 社会との共生

お客様とのかかわり	17
品質保証	17
技術・サービス	18
調達・取引先とのかかわり	19
株主・投資家とのかかわり	20
従業員とのかかわり	21
人財育成	21
ダイバーシティとインクルージョンの取り組み	21
安全と健康	22
地域社会とのかかわり	23
社会貢献への取り組み	23
教育・文化への取り組み	24
環境への取り組み	24

### 環境への取り組み

環境マネジメント	25
環境会計	26
環境アクションプラン	26
製品の環境配慮	27
地球温暖化防止	28
事業活動にともなう環境負荷	29
資源の有効活用/汚染防止/化学物質管理	30
生物多様性保全への取り組み/グローバルなEMS構築	31
環境データ編	32
INPUT OUTPUT グラフ	32
財務・非財務データ編	33
財務・非財務ハイライト	33

第三者意見	34
-------	----

## 編集方針

東芝機械グループでは、2000年から「環境報告書」を発行し、2013年からは報告内容を企業の社会的責任に拡大し「CSR報告書」として発行してきました。

本報告書は、東芝機械グループのCSRの基本的な考え方と、2017年の取り組み実績、今後の計画をステークホルダーの皆様へ提供し、ご理解いただくことを目的として発行しています。

ガイドライン：ISO26000

対象期間：2017年度(2017年4月1日から2018年3月31日まで)の活動を中心に、一部それ以前からの取り組みや、直近の活動報告も含んでいます。

対象範囲：●経済性報告は東芝機械(株)、国内関係会社5社および海外子会社9社のデータです。

●環境報告は東芝機械(株)、国内関係会社5社および海外製造会社3社のデータです。

発行時期：2018年8月

## 会社概要

商号	東芝機械株式会社(TOSHIBA MACHINE CO., LTD.)
本社	静岡県沼津市大岡2068-3
創業	1938年(昭和13年)12月
設立	1949年(昭和24年)3月
資本金	124億8,400万円
従業員数	連結：3,273名 単独：1,770名
工場	沼津工場 相模工場 御殿場工場 上海工場 インド工場 タイ工場
主な営業拠点	本店・支店 東京本店 千代田区内幸町2-2-2 東北支店 仙台市泉区上谷川4-8-10 中部支店 名古屋市名東区上社5-307 関西支店 大阪市北区梅田3-4-5 九州支店 福岡市博多区榎田2-3-23

連結対象子会社：14社(海外子会社9社含む)

非連結対象子会社：9社(海外子会社)

# 社会・環境、ステークホルダーの皆様から必要とされる企業を目指します

## はじめに

平素より、東芝機械グループへの格別のご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

東芝グループから離れた2017年3月からここまでの1年間は、お客様、株主・投資家の皆様、取引先の皆様、地域社会の皆様に、私たち「新生東芝機械グループ」を再認識いただくための活動期間でありました。

多くの対話を通じ、社会や環境に対する私たちの取り組み姿勢、企業メッセージをステークホルダーの皆様へ発信できたと考えております。

私たちは創業以来、「ものづくり」を通じてお客様のお役に立つこと、豊かな価値を創造すること、社会に貢献することで進歩を続けてまいりました。

そこで培われた技術・開発力、QCD、営業・サービス力を基盤とした商品力を維持しながら、今後新たなブランドを構築してまいります。そして、大きな時代の変革や様々なリスクを乗り越えながらさらなる発展を遂げ、永続的に必要とされる企業を目指してまいります。

加えて、当社グループは、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」で示された内容を理解し、豊かな地球環境、豊かな社会等の持続を目指し、企業としての役割を果たしてまいります。

また、ステークホルダーの皆様のご期待やご要望に応え、信頼を得るために、よりいっそうの企業努力を続けてまいります。

## 中期経営計画

東芝機械グループが2016年度からスタートした中期経営計画「TM-PΣPlan」(Toshiba Machine Profit Sigma Plan)では、これまでの中期経営計画のコンセプトである「先進と拡張」の考えを継承しつつ、新たに「高収益体質への変革」と「選択と集中」の二つを基本方針といたしました。

「高収益体質への変革」では、生産革新プロジェクトの推進によるリードタイム短縮や海外拠点を活用した最適調達網の構築でコストダウンを実現するなど、総原価低減施策に取り組みました。

一方、「選択と集中」では堅調な市場・地域・顧客に対する経営リソースの集中、自動車関連市場への総合的な対応等、当社グループが着実に成長していくための施策を進めてまいりました。

今後も、各施策を着実に実行し、企業価値の向上に努めてまいります。

## コンプライアンス・内部統制

東芝機械グループは、「東芝機械グループ行動基準」を定め、コンプライアンス機能と内部統制機能の構築と強化を図ってまいりました。コンプライアンスは経営の大前提であり、国内・海外における企業活動はすべて法令・社内規程・企業倫理などの社会のルールに従って遂行いたします。

私たちがルールを遵守することは、ステークホルダーの皆様への安心・安全・安定の確保に繋がり、企業価値の向上を図っていくことであります。全社員がこのことに留意し、将来に渡って必要とされる企業であり続けます。

また、高い倫理観と遵法意識の醸成を図るため、従業員教育、内部統制機能の充実に努めてまいります。

グループガバナンスにおきましては、東芝機械が中心となり、国内外各関係会社を含めたグループ力を引き続き強化し、グループ全体での経営管理を継続して推進してまいります。



# 東芝機械グループの 企業価値・社会価値創造プロセス

東芝機械グループは、国内外の法令や社会規範の遵守はもとより、「経営理念」「行動基準」に基づく内部統制機能の強化、公正かつ適切な事業活動の展開、安全・安心、高付加価値の商品を提供することで社会に貢献し、企業価値の向上につなげています。

また、自社グループの持つ技術力・開発力を発揮して豊かな価値を創造することでお客様のニーズにお応えし、将来にわたり発展し続ける「真のグローバルカンパニー」の実現を目指してまいります。

## 東芝機械グループ経営理念

東芝機械グループは、人間尊重を基本として、豊かな価値の創造により、産業の基盤づくりに寄与し、世界の人々の生活・文化の向上に貢献します。



### 事業戦略

- 基本方針
- 基本戦略
- 各事業部施策
- 中期経営計画

新たなニーズや期待

## お客様と社会の 持続可能な発展に貢献



### 豊かな価値を創造します

東芝機械グループの持つ技術力、開発力で、豊かな価値を創造します。

### 8つの技術プラットフォーム

1. 匠の加工・組立・測定技術
2. 加工機・成形機の設計技術
3. カスタマイズ技術
4. 材料技術
5. 制御・メカトロ・IoT技術
6. 摺動と回転
7. 金型起点の成形加工技術
8. ナノ加工技術

### 産業の基盤づくりに寄与します

東芝機械グループで創出する各種機械・サービスが、産業の基盤づくりに寄与します。

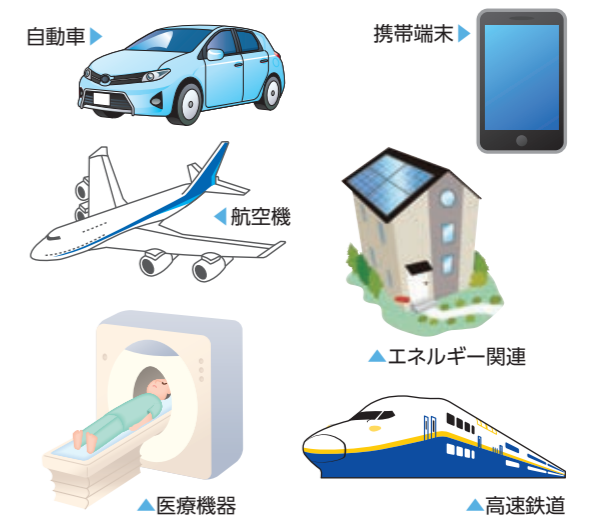
### 東芝機械グループの商品・サービス



### 世界の人々の生活・文化の向上に貢献します

東芝機械グループ製の機械から生まれる製品で、世界の人々の生活や文化の向上に貢献します。

### 当社グループ製の機械から生まれる製品・サービス



# 東芝機械グループのグローバルネットワーク

東芝機械グループは、総合機械メーカーとして、世界中で必要とされる製品の「ものづくり」に携わり、お客様の事業発展を支えると同時に、世界の人々の生活の向上と、より豊かな地球環境実現のための活動に取り組んでいます。

※円の大きさは事業活動のおよその範囲を表わしています。

## 海外主要拠点

- 東アジア
  - SHANGHAI TOSHIBA MACHINE CO., LTD.
  - TOSHIBA MACHINE (SHANGHAI) CO., LTD.
  - TOSHIBA MACHINE (SHENZHEN) CO., LTD.
  - TOSHIBA MACHINE TAIWAN CO., LTD.
- 東南アジア
  - TOSHIBA MACHINE SOUTH EAST ASIA PTE. LTD.
  - TOSHIBA MACHINE (THAILAND) CO., LTD.
  - PT.TOSHIBA MACHINE INDONESIA
  - TOSHIBA MACHINE (VIETNAM) CO., LTD.
  - TOSHIBA MACHINE (CHENNAI) PRIVATE LIMITED
  - TOSHIBA MACHINE MANUFACTURING (THAILAND) CO., LTD.
- 欧米
  - TOSHIBA MACHINE COMPANY, AMERICA
  - TOSHIBA MACHINE COMPANY CANADA LTD.
  - TOSHIBA MACHINE DO BRASIL COMERCIO DE MAQUINAS LTDA.
  - TOSHIBA MACHINE (EU) LTD.

### SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」で、豊かさを追求しながら人間、地球を守るために2030年までに地球全体で解決すべき17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」が掲げられました。

国連に加盟する全ての国はSDGsをもとに、2030年までに貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会などの諸目標を達成すべく力を尽くすことを求められており、企業の貢献も期待されています。

東芝機械グループでは、こうした社会が抱える問題に、事業を通じて可能な限り貢献できるよう努めてまいります。

## 海外でのCSRへの取り組み

東芝機械グループは、グローバルでのCSR活動を推進しています。各国の文化や慣習、考え方や人権などを尊重したCSR活動に現地の社員が率先して取り組んでいます。



中国では、顧客向け技術支援(成形基礎、メンテナンス、設備操作などの研修)を実施し、顧客満足度の向上を図りました



ベトナムでは、お客様を対象としたダイカストマシン保守鑄造講習会を開催し、ダイカストマシンの生産効率技術を提供しました



タイでは、工業団地に隣接する寺院の壁の塗り替えや、修復、清掃、植樹などの奉仕活動を行いました



台湾では、顧客向けに、射出成形機トレーニング、機械の取り扱いに関する安全教育を実施し、顧客満足度の向上を図りました



インドでは、6月5日の世界環境デーにあわせて構内に苗木を植え、環境保全に対する関心を高める啓発活動を行いました



インドでは、チェンパランバッカム地域の学生のために、100人以上が学ぶことができる校舎を建設しました

特集  
1

# 品質向上と環境配慮を旨とした “当社射出成形機”ができるまで

東芝機械グループは、お客様に安全・安心にお使いいただける製品を生み出すため、営業から設計・製造・検査まで高い技術力と真摯な対応で臨んでいます。

また、私たち一人ひとりが、社会や環境、ステークホルダーの皆様のお役に立つことを念頭に、日々の「ものづくり」に取り組んでいます。



超大型射出成形機 EC1800SX

**営業** お客様からの要望をうけて製品の提案と価格交渉、工場側への製作指示、納品、入金確認までの販売業務を行ないます。



担当者の声

中部地区で自動車関連メーカーを中心に国内外への販売活動を行なっています。お客様の要望に合わせた打合せを繰り返し行ない、技術部との懸け橋となり、また納入後の修理や相談についてもお客様の視点で取り組んでいます。



営業担当  
和田 貴輝

**設計** お客様の要望を把握し、機能向上と環境負荷低減を両立する製品を設計します。



担当者の声

蓄積された設計ノウハウや、QCツール、3D CAD等の設計ツールを活用して、お客様の要望に沿った高性能かつ高品質な製品の開発を行なっています。また設計段階で、部品の共通化や部品点数削減など環境を意識し、LCA評価を行なうことで、製品の環境負荷低減に努めています。



開発・技術担当  
宮川 稔

**調達** 製品づくりに必要な資材を、品質・価格・納期・環境負荷の軽減を考慮しながら調達します。



担当者の声

「かけがえない地球環境を健全な状態で引き継いでいく」という東芝機械グループのグリーン調達ガイドラインに沿って、環境負荷の少ない製品・部材を当社が評価・選定した調達先から調達しています。



調達担当  
落合 敦士

**鋳造・加工** 製品づくりに必要な鋳鉄素材部品を、品質を維持・改善しながら、優れた完全製品として供給しています。

● 鋳造 ● 加工 ● 検査



担当者の声

鋳造・加工は、設計者が図面化したものを形にする「ものづくり」の最前線の工程です。私が技術者として常に心掛けていることは「思いやり」で、部品加工時、ほんの少しの配慮で安定した品質が確保でき、それがお客様の満足につながっていると実感しています。



生産技術担当  
藤田 良太

製造

小型から超大型機まで幅広い機種を製造し、お客様が満足する品質のため、組立から機械据付までプロセスに沿った業務を行ないます。

● 社内検査



● 電装作業



● 組立



担当者の声

私は主に中大型電動射出成形機の検査を行なっています。検査業務は最終機械調整や動作、精度確認などを行ないます。お客様に最高品質の機械をお届けするために、品質の最後の砦として常に緊張感を持って仕事をしています。



社内検査担当  
早瀬 和希

● 射出成形機から  
生まれる製品やサービス



バンパー



センターコンソール



レンズ

《製品の環境配慮》

東芝機械グループは、「ものづくり」の会社として、お客様や社会、環境に配慮した製品の提供を目指しています。

例えば射出成形機では、自動車の軽量化に役立つ樹脂部品を成形し、省エネルギー・低燃費等によるCO<sub>2</sub>排出量の低減に貢献しています。

機能や品質が優れている事はもとより、より環境負荷の少ない環境調和型製品の開発やサービスに積極的に取り組んでいます。

特集  
2

# 多様な人財が活躍できる 職場づくり

東芝機械グループでは、性別・国籍・年齢等にとらわれず、個々の持つスキルや仕事への意欲などを重視した人物本位の採用を実施しています。入社後は、各人の適性に応じた適材適所の職場配置やワークライフバランスを考慮した仕事配分など、多様な人財一人ひとりが活躍できる職場づくりを進めています。



## 1カ月の育児休暇取得で妻の負担を減らすことができました

私は、押出成形機の購入を検討しているお客様への提案や技術的サポートに加えて、展示会などで韓国の企業に韓国語で説明をする営業支援もしています。

東芝機械は、仕事と家庭の両立を考えてくれる会社だと思います。私自身、娘が生まれた際に約1カ月間育児休暇を取得しました。母国ではない場所での出産は不安がありましたが、上司や同僚から「まずは家族を大事にしてください」と気遣っていただきました。休暇中は家事や子供の入浴などを分担し、妻の負担を減らすことができました。業務復帰に際しても「仕事に慣れるのに時間がかかるから」と、しばらくは業務量を減らしていただいたので、よりスムーズに仕事に戻ることができたと思います。



押出成形機技術部  
営業技術担当  
李 咏俊 (イ・ヨンジュン)  
韓国出身

## 分け隔てなく、周りの人が丁寧に仕事を教えてくれます

現在の業務は、3D CADによるロボットコントローラ筐体の設計や、2D CADによるコントローラの内部配線と外部ケーブルなどの設計です。ロボット技術は、第四次産業革命の軸とされているので、自分がこの仕事に携わっていることを誇りに思っています。将来はロボットのプロとして積極的に海外のお客様と交流し、日本と海外の掛け橋になりたいと思っています。

東芝機械は、誰に対しても分け隔てなく、上司や先輩など周りの人が丁寧に仕事を教えてくれるので、日本人ではない私でも仕事のしやすい職場だと思います。また、仕事の後は、料理や部屋の模様替えなど好きなことに集中する時間も取れるので、気分転換ができ、翌日の仕事の効率も良くなります。



制御システムロボット技術部  
ロボット制御技術担当  
金 珩 (キン・シクン)  
中国出身

## 営業の仕事しながら技術知識を習得していきたい

私は、工作機械の輸出営業をしています。お客様へ高品質の製品をお届けするのは、とてもやりがいのある仕事です。東芝機械グループの製品は中国の自動車産業への貢献度が高く、特に軽量化・省エネ・環境負荷低減に大きな役割を果たしていると感じています。

また、技術者が直接お客様の声を聴き、同じ目線で向き合うことで、当社のもつ伝統や高度な技術をさらに生かし、お客様にも貢献できると思います。現在は、私自身に技術的な知識が不足しているので、これから色々な経験を積み、習得していきたいです。また、そうした努力を続け、将来的にはリーダー的立場となって、後輩達に道を示せるようになりたいと思います。



工作機械営業部  
第三輸出担当  
楊 穎 (ヨウ・エイ)  
中国出身

## 自分の成長を日々感じられる職場です

ベネズエラから見ると日本は不思議な国で、考え方や習慣はまったく違います。開発技術担当として新製品の開発に携わっていますが、ビジネス文化の違いに戸惑う私にも、上司や先輩が会社の理念や方針から仕事上のルール、進め方まで丁寧に教えてくれます。

開発の業務は、社内ではだれも経験していない分野について、理論的に説明する必要があります。上司や先輩は、たとえ間違っている私の考えに耳を傾け、正しい点・間違っている点を指摘してくれますので、知識やスキルの向上を日々感じることができています。

非常に忙しいですが、試行錯誤しながら新製品の開発に携わる仕事にやりがいを感じますし、最終的に、ほんの少しでもお客様満足に貢献できることが幸せです。



射出成形機技術部  
開発技術担当  
Rivas Ernesto  
(リバス・エルネスト)  
ベネズエラ出身

## 人物本位の採用を実施しています

東芝機械グループは世界中で機械の製造・販売を行っていますが、少子高齢化や経済のグローバル化が進行する日本では、多様性のある外国人材の採用と活用が不可欠であり、積極的に進めています。

特に、急速な市場化が進む新興国等では、高い技術力や語学力を持ち、多様な価値観・経験・ノウハウ・行動力等を有する人材が重要になります。

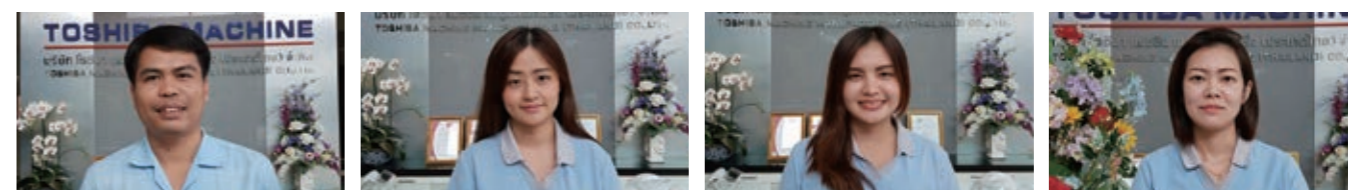
私たちは、多様な人材の活用と育成、異文化コミュニケーション等を推進し、長く定着できるようサポートしています。



人事部  
人事・採用担当  
グループマネージャー  
滝 登

## 外国人材の推移

	(年度)	2014	2015	2016	2017
国内在籍社員	(人)	10	10	11	12
海外現法在籍社員	(人)	893	867	850	909



# お客様ニーズに応える 進化形製品群

製品誕生までの  
主なプロセス

お客様のニーズ  
(マーケティング)

最適なお提案  
(お客様視点から)

設計  
(研究・開発)

製造  
(加工・組立)

納品  
(アフターフォロー&フィードバック)

お客様による  
製品の活用

さまざまな形で  
市場と社会に貢献

## ダイカストマシンによるアルミ部品成形

### 自動車部品の軽量化に最大限の強みを発揮!

金属材料を溶かして金型に流し込み、固めて金属製品を製造する機械です。

大面積部品もアルミ合金で軽量化、高強度部品にも対応し、燃費向上に貢献します。

当社製品から生まれる部品:  
エンジンブロック、ドアパネル、足回り部品など



## 超精密加工機による光学部品金型加工

### 世界最高精度の超精密加工技術を提供!

光学部品等を成形する金型をナノレベルで加工する機械です。

自社製空気静圧主軸の高速、超低振動回転による加工で、ヘッドライトや車載カメラの進化に貢献します。

当社製品から生まれる部品:  
各種レンズ用金型、ヘッドライト用金型など



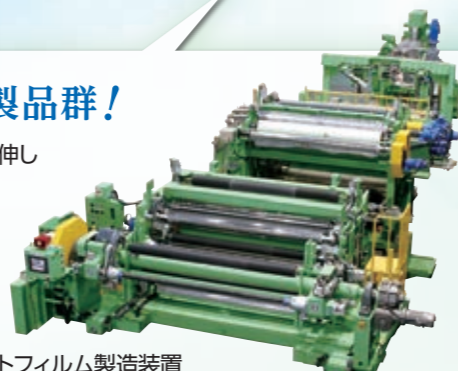
## 押出成形機による 二次電池用セパレータフィルム成形

### 幅広いニーズに応える豊富な製品群!

樹脂粒子を溶かしてロールで冷却、クリップ装置で延伸し多層構造のシート・フィルムを成形する機械です。

リチウムイオン電池用セパレータフィルムで、EV車、PHV車の普及に貢献します。

当社製品から生まれる部品:  
リチウムイオン電池用セパレータフィルム、液晶ディスプレイフィルム、タイヤなど



シートフィルム製造装置

## 工作機械による部品加工

### 世界中で活躍する 高品質・高生産性!

幅広い産業に切削加工で寄与するマザーマシン\*です。

中大型の部品加工や、摩擦攪拌接合(FSW)で、自動車の未来に貢献します。

当社製品から生まれる部品:  
自動車ボディ、航空機部品、鉄道ボディ、プレス用金型など

MCW-4624(5A)



\*マザーマシン:機械を作るための母なる機械

## 鋳造工場における鋳物製造

### 長年培った豊富な経験と技術!

社内で鋳造、機械加工を行ない自社製品(工作機械・射出成形機・ダイカストマシン等)の主要部品として使用することで、品質安定、信頼性向上を実現しています。



注湯



鋳物



加工品



機械加工



東芝機械グループは  
総合機械メーカーとして  
自動車産業発展のために  
お客様の期待を超える  
新しい製品やサービスを  
創り出します

## 産業用ロボットやIoTによる作業支援

### 幅広いバリエーションから お客様へ無限の 満足度を実現!

産業用ロボットは、用途によって選べる豊富な種類と組合せで、さまざまな産業の省力化・自動化・効率化に貢献します。また、IoT+mプラットフォームにより、工場の監視・保守・製造を実現し、お客様の生産性向上に貢献します。

TVM1500



## 射出成形機による光学部品、樹脂部品成形

### 超精密部品から大型部品までお客様が満足するフレキシブルな提案!

樹脂粒子を溶かして金型に流し込み、固めてプラスチック製品を成形する機械です。

繊維強化樹脂で自動車部品の軽量化に貢献します。

当社製品から生まれる部品:  
バンパー、センターコンソール、コネクタ、レンズなど

EC1300SX



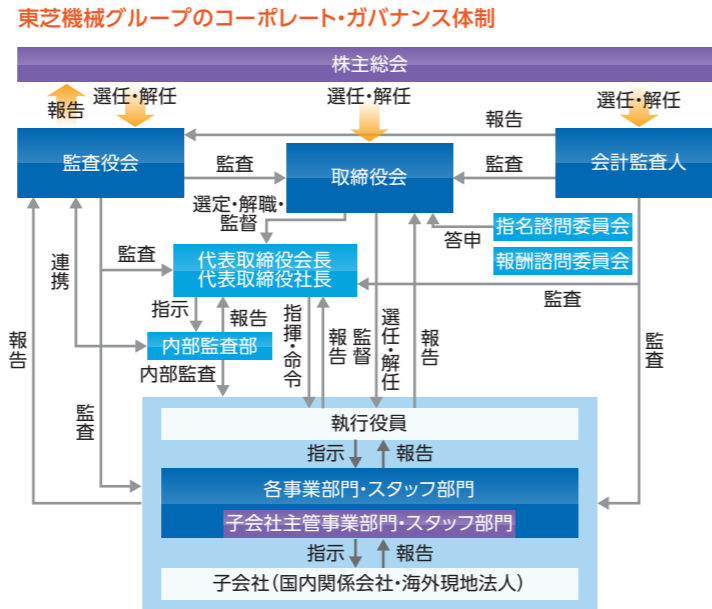


# CSRマネジメント

東芝機械グループは『東芝機械グループ経営理念』のもと、さまざまな事業活動を行なうために、役員、従業員が遵守すべき『東芝機械グループ行動基準』を制定するとともに、社会的責任を果たし企業価値を継続的に向上させるため、内部統制、グループガバナンス、リスク・コンプライアンスなどのシステムを構築し、透明性の高い経営体制の確保を旨としています。

## コーポレート・ガバナンス

当社は『内部統制基本方針』に基づき適切な内部統制システムを整備し、取締役・監査役の指名や取締役の報酬に関する透明性・公正性を高めるべく、「指名諮問委員会」および「報酬諮問委員会」を設置し、執行役員制度の運用により経営と執行の分離、経営責任の明確化、経営意思決定および業務執行の効率化・迅速化を実現することで、透明性の高いコーポレート・ガバナンス体制の構築をしております。また、当社は、監査役が会計監査人および内部監査部門と連携して、経営を監視する機能を整えております。



## 内部統制システム

東芝機械グループは、当社グループ経営理念のもと、適正な業務執行のための体制を整備し、運用していくことが重要な経営の責務であると考え、『内部統制基本方針』を定め、当社グループの業務の適正を確保するための体制を構築・運用しています。

また、内部監査部やスタッフ部門が独自に実施する内部監査機能により、内部統制の適正な運用をモニタリングし、内部統制システムの強化および改善に取り組んでいます。

## グループガバナンス

東芝機械グループは、適切なグループ内部統制システムを構築し、東芝機械グループの経営効率を高め、グループ経営力を強化するとともに、リスク管理、法令遵守等のリスク・コンプライアンスマネジメントを推進することにより、グループの企業価値の最大化を図ることを目的に『東芝機械グループガバナンス基本方針』を定め、グループガバナンスの強化および改善に取り組んでいます。

## リスク・コンプライアンス管理

東芝機械グループは、その事業活動を行なうにあたり、生命・安全と法令・社会規範・倫理の遵守(コンプライアンス)を最優先とすることを基本に、『東芝機械グループ経営理念』および『東芝機械グループ行動基準』を定め、日常の事業活動の行動規範としています。また、事業活動を行なうに際しての不確定要因(リスク)を積極的にコントロールし、透明性の高い経営体制を確保するための体制(リスク・コンプライアンスマネジメント体制)を構築、推進および維持することを目的に、『リスク・コンプライアンスマネジメント規程』を定めています。

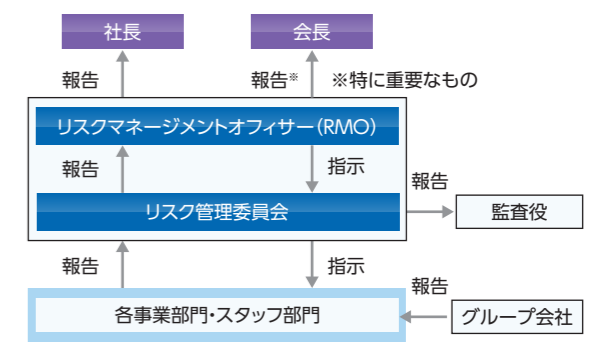
また、グループ会社従業員、派遣社員等も対象とした「内部通報制度」や、取引先を対象とした「取引先通報制度」を設置し、通常のルートでは報告されにくい機微なリスク情報についても収集を行なえる体制を導入・運用しています。

## リスク・コンプライアンスマネジメント体制

東芝機械グループは、リスク・コンプライアンスマネジメント体制の具体的な構成要素として、リスク・コンプライアンスマネジメントを司るリスクマネジメントオフィサー(RMO)を任命するとともに、「リスク管理委員会」を設置し、定期的開催しています。

各事業部門・スタッフ部門では、日常の管理活動の中でリスク予知、予防活動および自己点検等のモニタリングを行なっています。

## リスク・コンプライアンスマネジメント体制



## 東芝機械グループ行動基準

東芝機械グループは、『東芝機械グループ経営理念』に基づき事業活動を行なうにあたって、生命・安全とコンプライアンス(法令、社会規範、倫理の遵守)を最優先することを基本に『東芝機械グループ行動基準』を定め、一人ひとりが遵守すべき具体的な行動を示し運用しています。

### 東芝機械グループ行動基準

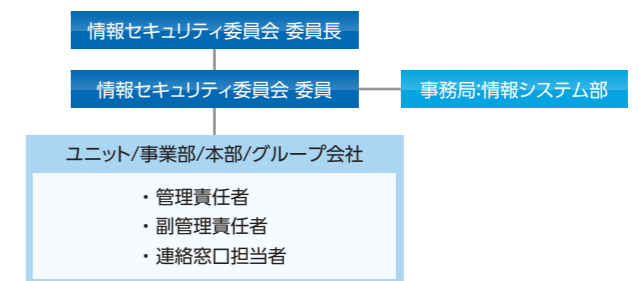
- |                      |               |                       |
|----------------------|---------------|-----------------------|
| 1. 人権の尊重             | 8. 環境活動       | 15. 広告活動              |
| 2. お客様の尊重            | 9. 輸出管理       | 16. 職場環境の整備           |
| 3. 調達活動              | 10. 反社会的勢力の排除 | 17. 情報セキュリティ          |
| 4. 生産・技術活動および品質活動    | 11. 技術者倫理の遵守  | 18. 会社財産の保全・利益相反行為の禁止 |
| 5. 営業活動              | 12. 知的財産権の尊重  | 19. 社会とのかかわり          |
| 6. 独占禁止法・官公庁取引規制等の遵守 | 13. 適正な会計     | 適用範囲・推進体制等            |
| 7. 贈賄の禁止             | 14. 広報活動      |                       |

## 情報セキュリティ管理

東芝機械グループは、情報セキュリティ委員会を設置して管理体制を整備・推進しています。また、情報セキュリティ情勢の変化に対応した情報セキュリティポリシーを全社規程として制定しています。本年度も、昨年度に引き続き規程の見直しと改正を実施しました。改正内容としては、IoT(Internet of Things, モノのインターネット)の潮流に対応していくため、機器・IoTシステム等のリスク対応に関する規程を新たに決めました。

また、情報セキュリティ対策を徹底するため、本年度も国内グループ会社と海外現地法人の従業員、および派遣社員に対して定期教育を実施し、受講率は100%となりました。このような活動を通じて、従業員が遵守すべき情報セキュリティ施策の啓蒙活動に努めています。

## 情報セキュリティ管理体制



## 知的財産の尊重と活用

東芝機械グループは、特許法、著作権法その他知的財産権に関する法令を遵守し、第三者の知的財産権を尊重することを全社規程で規定しています。商品の開発時には、他社の特許等を確認、社外講演や業界誌への投稿時には、第三者の著作権等を確認しています。また、研究開発で創出された知的財産を特許権等で保護し自社製品への活用を積極的に進めており、国内外で約2,000件の特許権・商標権等を保有しています。

# CSRの取り組みテーマ

東芝機械グループは、自然に恵まれた静岡県東部に主要な生産拠点を有し、また、世界中の国・地域で事業活動を展開しています。

豊かな地球環境を未来に残し、社会の持続可能な発展に貢献するため、私たちを取り巻くお客様、株主、取引先、従業員、地域社会の方々等、世界中のステークホルダーの皆様への関心と配慮を保ちながら、CSR活動を推進してまいります。



項目	取り組みテーマ	2017年度の計画	2017年度の取り組み	評価	2018年度の計画	ISO26000の中核課題	掲載ページ
 お客様とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 技術</li> <li>● 品質・安全</li> <li>● サービス</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● IoTサービスによるお客様満足度の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自社設備のIoT対応、お客様の設備で検証</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● IoT+mプラットフォームの中核となる標準見える化ツール(ダッシュボード)の商品化</li> </ul>	環境消費者課題	P17~
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● ISO9001 2015年版改訂へ対応(4事業部、1関係会社)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 計画どおり対応</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 品質マネジメントシステム(QMS)の向上</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内外顧客への技術および製品情報提供の強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最新技術と新製品を紹介した「技報」を発行</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国内外顧客への技術および製品情報提供</li> </ul>		
 調達・取引先とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境保全を考慮した調達</li> <li>● 適法な調達</li> <li>● 反社会的勢力との取引防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取引先環境調査の実施と指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 取引先に環境調査と指導を実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 新EDIシステム取引先社数向上</li> </ul>	公正な事業慣行	P19
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調達関係法令教育の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調達適法教育 各調達関係部門へ1回実施</li> <li>● eラーニング グループ会社含む全社員対象1回実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 調達関係法令教育の実施</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外拠点に対するCSR調達活動の調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 4拠点で調査(TMSAP)を実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外拠点に対するCSR調達活動の調査継続</li> </ul>		
 株主・投資家とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 適時開示</li> <li>● コミュニケーションの向上</li> <li>● 評価の確保</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コーポレートガバナンス・コードの強化による株主との対話の継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 機関投資家との対話を実施(119件)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 株主・機関投資家との対話の実施</li> </ul>	組織統治	P20
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外投資家も踏まえたHP掲載内容の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 英文決算短信、ファクトシート、財務情報を開示(日英中文HP)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● HP投資家情報コンテンツの拡充</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外メディアへの情報発信継続</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外メディアへ情報を発信(3件)</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 情報閲覧方針の策定</li> </ul>		
 従業員とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ダイバーシティ</li> <li>● 人財育成</li> <li>● 安全・健康管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ダイバーシティへの対応</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 多様な人財の活躍の推進、育児・介護に関する制度の対応および推進</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ダイバーシティへの対応</li> </ul>	人権労働慣行	P21~
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● グローバル人財育成教育を強化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 短期留学や他言語セミナーなど幅広くグローバル人財育成教育を実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● より実践的なグローバル人財育成教育を実施</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上期にタイ工場教育体制の構築を完了予定</li> <li>● インド工場安全管理状況の確認調査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タイ工場教育体制の構築完了</li> <li>● インド工場安全管理調査を実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 従業員の意識高揚を図るための安全・健康教育の実施</li> </ul>		
 地域社会とのかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育・文化活動</li> <li>● 福祉活動</li> <li>● 美化・緑化活動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場見学、職業訓練などによる教育活動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 職場体験、職業訓練を実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各種教育活動の実施</li> </ul>	コミュニティへの参画およびコミュニティへの発展	P23~
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外拠点におけるCSR活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外CSR活動を実施、本誌特集で報告</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ボランティア、福祉活動の実施</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域、行政への活動協力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 静岡県環境保全協会見学会実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域、行政への活動協力</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 外部団体植樹活動参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2件の植樹活動に参加</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場周辺美化活動実施</li> <li>● 外部団体環境活動参加</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場周辺美化活動実施</li> <li>● 外部団体環境活動参加</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 工場美化ボランティア開催(10拠点817名参加)</li> <li>● 工場立地地域団体環境活動に参加(17団体)</li> </ul>	○			
 環境への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境マネジメントの強化</li> <li>● 環境負荷低減</li> <li>● 地球温暖化防止</li> <li>● 汚染防止</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ISO14001 2015年度版認証取得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 東芝機械グループ国内外認証完了</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境マネジメントシステムの有効活用</li> </ul>	環境	P25~
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外拠点の環境管理レベル向上および環境教育</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2拠点の内部監査、環境教育実施</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 海外拠点の環境管理レベル向上およびキーマン教育</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● エコカーの導入推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 導入台数18台、導入率29.5%</li> </ul>	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社有車および自家用車における環境負荷低減</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 社有車のエコドライブの促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「エコドライブ10のすすめ」を社内掲示し、エコドライブを普及・促進</li> </ul>	○			

# 社会との共生

東芝機械グループは、経営理念に基づき、さまざまなステークホルダーの皆様との信頼関係を築きながら、公正・誠実で透明性の高い事業活動を目指します。



## お客様とのかかわり

お客様に満足していただける製品やサービスを提供するため、「製品の安全・品質」だけでなく、「アフターサービス」や「企業イメージ」など全般にわたりグループ全体による標準化・改善を積極的に進めています。

## 品質保証

### 品質方針の設定

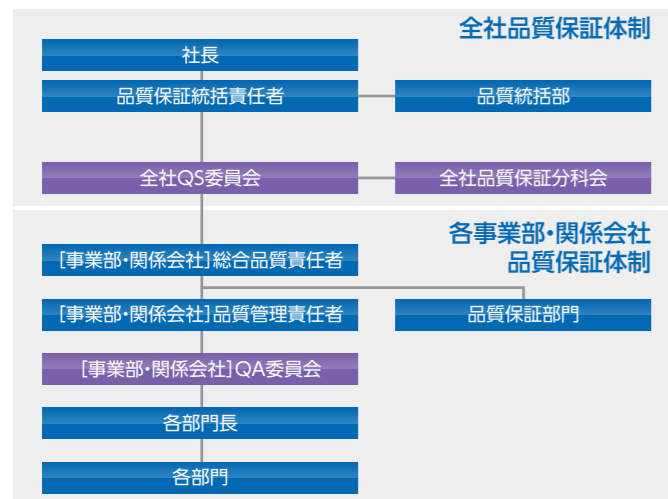
毎年、『東芝機械グループ品質方針』を定め、お客様に信頼していただける製品・サービスの提供に努めています。

#### 2017年度東芝機械グループ品質方針(一部抜粋)

- **顧客満足最優先の活動**  
お客様の潜在的・顕在的要求を的確にとらえ分析し、お客様の満足を最優先とした継続的な改善活動に努めます。
- **営業、技術、製造、サービス品質の向上**  
「後工程はお客様」の考えに基づき、全ての人が、全ての部門で、自ら全ての工程を管理し、その仕組みとやり方の改善を進め、仕事品質の向上を図ります。
- **法令・規則の遵守**  
製品品質および製品安全に係る法令および規則などの要求事項を常に把握し、遵守します。

### 品質保証体制

ブランドの維持向上のため、品質統括部を設置し、統制と企画を推進しています。また、安全・品質に関して、全社QS(Quality&Safety)委員会にて適切な処置を行っています。



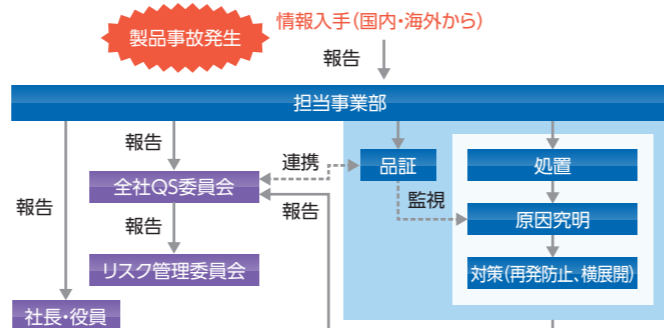
### 製品安全への取り組み

お客様の安全を確保するために、関連法規制の遵守や、お客様への積極的で誠実な情報開示に取り組んでいます。

#### 製品事故時の対応

自社製品の事故情報を各部門に報告し、調査、対策および、全社QS委員会にて全社的施策の推進をしています。

#### 製品事故時の対応体制



### 品質向上に向けた取り組み

計画の進捗結果

#### ISO9001の2015年版改訂に対応

法令を遵守し、事業部・関係会社単位でISO9001品質マネジメントシステムを構築、品質保証活動を展開しています。また、2017年度は、ISO9001の2015年版改訂について、計画通り対応(4事業部、関係会社1社)をすすめるとともに、内部監査員養成教育を実施し、品質マネジメントシステムの維持、向上に取り組まれました。

## 技術・サービス

東芝機械グループは、経営理念である「メカトロニクスとシステム分野を中心に技術革新を進め、産業の基盤づくりに寄与し、豊かな価値を創造します」に基づき、世界中のお客様に満足いただける製品、システムおよびサービスを提供します。

### 国内外顧客への技術および製品情報提供の強化

計画の進捗結果

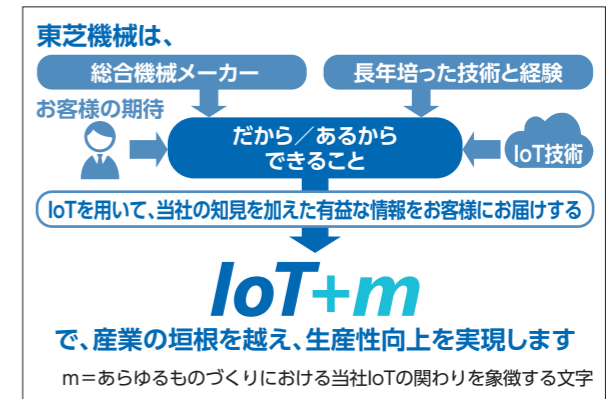
年1回「東芝機械技報」を発行し、東芝機械グループの技術および新製品に関する情報をお客様に提供しています。2017年5月に発行した第25号では、IoTの活用や新素材への対応など最新技術への取り組みを中心に、技術報告6編と新製品ニュース8編を掲載し、「東芝機械グループソリューションフェア2017」ご来場者など、国内外のお客様へ情報を発信しました。

### IoT(Internet of Things)の推進

計画の進捗結果

東芝機械グループで展開する「IoT+m」は、製造現場の見える化からスタートし、徐々にステップアップすることで、スマートファクトリーを目指します。今後、すべてのお客様に向けたIoTソリューションを展開し、生産性向上・品質向上・環境負荷低減など、お客様の利益に貢献していきます。

また、政府の掲げる、わが国の産業が目ざす姿を示すコンセプト「Connected Industries」にも積極的に取り組みます。



#### <2017年度 社内事例>

沼津工場では自社設備のIoT化を目指し、設備機械に振動センサを取り付けてモニタリングを継続、故障につながる予兆を察知することで、事前にメンテナンスが可能となりました。また、潤滑油の状態をモニタリングすることで、潤滑油劣化が原因によるダウンタイムの回避に取り組んでいます。

#### <2017年度 お客様事例>

社内実証の成果を踏まえ、振動の常時監視データを収集・蓄積し、機械学習モデルを用いた自動分析・判定機能を構築、お客様の設備で検証しています。異常が発生した際、コントローラにアラートを通知する機能も組み込んでいます。

### 各種スクール受講者の声

東芝機械製品をお買い求めいただいたお客様へ、経験、レベル、目的に応じた各種スクールをご用意しています。

#### 射出成形機<ISスクール>.....受講者数115名

- 成形不良に対する条件変更のポイントがよく分からなかったが、座学、実習を通じて学ぶことができた。
- 長年、成形技術者として仕事をしてきたが、知らなかったことが多く、奥の深さを感じ視野が広がった。

#### ダイカストマシン<DCスクール>.....受講者数76名

- ダイカストの作動原理、鑄造条件の設定方法がよく分かり、とても勉強になった。
- 鑄造、保守等からめてのスクールで、大変役に立つ内容だと思います。

#### 工作機械<NCスクール>.....受講者数195名

- Gコードも分からないまま五面加工機を使っていたが、今回のトレーニングで理解できた。
- 普段は同じGコードしか使わないのですが、他のコードで色々出来る加工の視野が広がって良かった。

#### 産業用ロボット<ロボットスクール>.....受講者数116名

- 1から丁寧に教えていただき、とても分かりやすかった。演習しながら学んだことでどんな動作ができるのかイメージしやすくなった。
- ロボットの取扱経験はあったが、プログラム作成支援ツールTSAssistの講習を受け、実のある機会になった。





## 調達・取引先とのかかわり

東芝機械グループの資材部門はCSR調達を推進するために、環境保全、調達基準、遵法を3大要素として取り組んでいます。

### グリーン調達 計画の進捗結果

東芝機械グループは、「“かけがえのない地球”環境を、健全な状態で次世代に引き継いでいく」という考えに基づき、環境に調和した商品づくりのため、その一環として環境負荷の少ない製品・部品・材料・原料の調達(以下、グリーン調達)を推進しています。

資材部門では『グリーン調達ガイドライン』を制定し、東芝機械グループの取り組み方針と調達にかかわる評価・判定基準を定め、サプライチェーン全体で環境に配慮した調達活動を実施しています。

### 環境保全活動を推進している取引先からの調達

環境保全に対する活動は、取引先の自主的活動であることを基本としますが、必要に応じ改善活動のお手伝いをしています。グリーン調達にあたっては、ISO14001外部認証取得をはじめとする環境に配慮した活動に取り組んでいる取引先から調達を進めています。

2017年度は、ISO14001等の外部認証取得、グリーン調達、および環境保全活動に関するお取引先の取り組みについて、『取引先環境調査報告書』による評価・判定、指導を行ないCSR調達の向上を推進しました。

### 環境負荷の少ない製品・部品・材料・原料の調達

調達品を品目特性で三つに分類(商品にかかわる材料等の調達品、生産活動にかかわる調達品、文房具等事務用品)し、ライフサイクル(原材料調達、製造、流通、消費、廃棄などの各段階)における環境負荷の少ない製品・部品・材料・原料の調達を推進しています。

### 調達基準

人権に関する国際規範を理解し、基本的人権を尊重することをはじめ、調達活動の基本方針などを定めた『東芝機械グループ行動基準』に則り活動しています。

調達活動に関する手続きは、『購買管理規程』に定めた所定の調達部門が実施しています。

『東芝機械グループにおける資材調達方針』は、ホームページをご参照ください。

<http://www.toshiba-machine.co.jp/jp/company/shizai/index.html>

### 遵法

遵法対応は『購買管理規程』に購買活動の基本を定め、全グループ会社従業員に遵守徹底を教育しています。

### 教育と監査 計画の進捗結果

- 社内遵法教育の実施(年1回)
- 調達内部監査の実施(年1回)
- 社外講習会などへの参加(都度)



設計担当者向け下請法講習会(約190名受講)

生産活動の源流となる設計担当者に必要な不可欠な下請法について、また不正のない社会ルールに従った「CSR調達」を旨とし、改善や対策を指導しました。

### リスク管理

全社リスク管理の中で、リスクマネジメントを実施し対応しています。

### 取引先通報制度

『取引先通報制度』をホームページに設けています。  
<http://www.toshiba-machine.co.jp/jp/company/shizai/partnerline.html>

### グローバル調達 計画の進捗結果

海外生産拠点が保有する調達情報を一元化し、納期・品質・価格において、最も適した調達品を特定するための仕組み「グローバル調達ネットワーク」を構築しています。東アジア、東南アジア市場において「地産地消体制」を確立し、「最適調達網」を活用することで、原価低減を図ります。

2017年度は中国・タイ・インドの海外拠点において、購買業務の運用状況を自己評価して改善活動を実施しました。



## 株主・投資家とのかかわり

さまざまな情報発信・相互交流を通じて、株主・投資家の皆様に東芝機械グループをご理解いただくよう努めています。

### 情報開示の基本方針

東芝機械は、株主・投資家や取引先、地域社会などのさまざまなステークホルダーの皆様に東芝機械グループの現状を正しくご理解いただくために、経営理念、行動基準、決算情報、財務情報など企業情報の適時・適切な開示に努めています。

また、重要な会社情報が生じた際に、迅速・正確・公正な情報開示を行なっています。

### 機関投資家との対話機会の拡充 計画の進捗結果

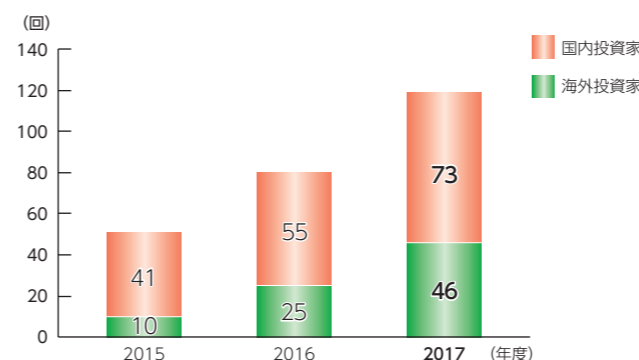
コーポレートガバナンス・コードの強化にともない、決算発表後、機関投資家の皆様に、東芝機械グループの持続的企業価値向上を目的としたIRミーティングを実施しています。

2017年度は119回実施し、当社の状況をご理解いただくとともにご意見をいただきました。また工場見学会を6回実施し、生産現場をご覧いただくことでBtoB企業の業態を分かりやすく紹介しました。

加えて、初の海外IRを実施し、アジアの機関投資家9社と当社への理解深耕に向けた対話を実施しました。



### 機関投資家との対話回数



### 投資家情報HP

#### 掲載コンテンツの充実 計画の進捗結果

株主ならびに投資家の皆様に当社へのご理解を深めていただくため、HP上で投資家情報サイトを運営し、市場動向や外部調査などを基に、適時・適切な情報更新に努めています。

2017年度は従来のコンテンツに加えて、当社概況を一枚にまとめたファクトシート、投資家の関心の高い株価情報、財務データ等の内容の充実を図りました。



### 海外市場に向けた

#### プレスリリースの配信 計画の進捗結果

グローバル市場へ事業領域が広がるなか、海外メディアへ情報を発信することで、海外市場での当社製品・サービスの認知度向上に取り組んでいます。

2017年度は、工作機械のものづくり情報発信基地である御殿場テクニカルセンターの開設など3件のプレスリリースを配信し、米国327、中国211のサイトで紹介されました。

今後も注力市場での情報発信を継続し、東芝機械グループがお客様のものづくりパートナーとして認められるよう努めていきます。





## 従業員とのかかわり

東芝機械グループは、「強み」を持った人財を育成する」をコンセプトに、従業員の能力開発、人財育成を通して公正な評価、処遇を行ない、働きがいのある職場づくりに努めています。

## 人財育成

計画の進捗結果 ○

### 教育体系

東芝機械グループは日常業務を通じたOJTのほか、全社共通に、または職種に応じた専門分野ごとに、幅広い教育・研修を実施し、各自が能力を最大限に発揮し、成果につながることを目指しています。

また、全社員を対象に、階層やスキルに応じたグローバル人財育成、コンプライアンス教育、技術・技能の向上と伝承、自己啓発などの人財育成に努めています。

### グローバル人財育成教育 ～グローバル市場で活躍できる人財の育成を目指して～

2017年7月9日～15日、海外短期留学を実施し、3名が熱気あふれるアジアの新興国ベトナム(ホーチミン)でミッション・グローバル研修に参加しました。研修では、「CMを制作し、当社の製品・サービスをベトナム人にPRする」、「日系居酒屋にベトナム人向けランチメニューを提案する」など全5件の課題に取り組みました。

### VOICE

押出成形機技術部 特殊機設計担当 三宅 倫弘

1人では時間内にやりきることができない課題であっても、チームで結束することによって達成できるということ、身をもって体験できました。

工作機械営業部 東京営業担当 鷹野 浩志

時間およびプロセス管理の徹底や、役割分担の大切さを改めて認識しました。今後は学んだことを生かし、より意識を高く持って営業活動に励みたいと思います。

東栄電機株式会社 第二電装課 大村 恭輔

不安や苦手意識から二の足を踏んでしまうような状況であっても、「案外どうにかなる」という前向きな考えを持てるようになりました。



短期留学最終日  
左から  
三宅さん、鷹野さん、大村さん

### 中国語セミナー ～積極的に、異文化に触れよう～

2017年10月23日～25日、異文化を学び国際的な視野拡大につなげることを目的とした中国語セミナーを開催しました。

参加者は、日本と異なる文化・歴史を持つ中国人の考え方、コミュニケーションスタイルや、中国語の音の仕組み・発音等を学び、難しい発音に苦戦しながらも、中国ビジネスの即戦力となるための知識を身につけました。



## ダイバーシティとインクルージョンの取り組み

計画の進捗結果 ○

### 人権尊重の方針

東芝機械は、『東芝機械グループ行動基準』を定め、そのもとで基本的人権および個人の多様性を受容し、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現を支援することを方針としています。

- 各国・各地域の法令等を踏まえ、人権に関するさまざまな国際規範を理解し、基本的人権を尊重します。  
また、児童労働、強制労働を認めません。
- 東芝機械グループにおいて、基本的人権を侵害する行為があった場合には、適切な措置を講じます。  
また、調達取引先においても、基本的人権を侵害する行為が認められる場合は、改善を求めています。
- 人権尊重のため、関連するステークホルダーと対話を進めます。
- 創造的、効率的に業務を遂行できる環境を整え、ワーク・ライフ・バランスの実現を支援します。
- 安全で快適な職場環境を実現するよう努めます。

## 育児・介護に関する制度と活用状況

過去5年間、女性社員の育児休業取得率は100%で、育休復職率もおおむね100%です。また、短時間勤務のほか、本人からの申し出によって残業を免除するなど、ワーク・ライフ・バランスを支える制度を整えています。

2017年に育児・介護休業法改正にともなう育児短時間勤務制度の拡充、介護短時間勤務制度を導入し、育児短時間勤務制度の利用者は増加しています。

2016年度より、国内関係会社5社を含むデータです。

年度	2013	2014	2015	2016	2017
育児休業取得者( )内は男性	4	4	3	7(1)	5(1)
育児休業復職率	100%	75%*1	100%	100%	100%
介護休業取得者	0	0	1	0	0
短時間勤務制度利用者(育児)	4	3	2	5	9
短時間勤務制度利用者(介護)	-	-	-	0	0

\*1 海外帯同にともなう自己都合退職1名

## 育児と両立しやすく長期継続しやすい仕事環境

2017年度の平均勤続年数は19.6年(男性:19.4年、女性:21.3年\*2)で、長期にわたり腰を落ち着けて働く社員が多いことが特徴です。 \*2 東芝機械(株)のみ

年度	2013	2014	2015	2016	2017
自己都合退職者( )内は女性	12(2)	15(4)	18(1)	35(6)	32(2)
うち、出産・育児を理由とした退職者	0	0	0	1	0

## 多様な人財の活躍推進

性別、国籍、年齢等にとらわれない人物本位の採用、各人の適性に応じた適材適所の職場配置を推進しています(9ページからの特集2にてご紹介しています)。

年度	2013	2014	2015	2016	2017
外国人社員	7	10	10	11	12

## 安全と健康

安全と健康管理は経営の基盤であり、その機能を強化するため、全グループ一丸となって活動の活性化を図っています。

### 労働災害の発生状況とその防止

東芝機械グループの労働災害発生率は、全国の全産業・製造業と比較すると低い水準で推移していますが、2017年度も「ゼロ災」の達成に至りませんでした。

2018年度は災害ゼロに向け、安全衛生活動に積極的に取り組み、「安全第一」を最優先に安全・安心な職場環境づくりを推進します。

### 心とからだの健康づくり

すべての従業員が自らの心身の健康を維持しながらその能力を十分に発揮できるよう「心とからだの健康づくり」に取り組んでいます。



健康診断の有所見者やメンタルヘルス不調者には、産業医・看護師による個別保健指導や個別面談を行なうとともに、全従業員の「心とからだの健康」意識向上のため、健康イベントや、各種健康教育を実施しています。

海外駐在員や海外出張者には、現地の衛生状況を踏まえた健康教育や医療情報提供のほか、医療・危機管理アシスタンスプログラムを導入し安心して働けるよう配慮しています。

### 労働安全衛生マネジメントシステムの推進

安全と健康の確保は企業活動と不可分の関係にあることを認識し、労働災害の防止と健康づくりに努めるとの理念により、沼津・相模工場では「OSHMS」\*の適格認証を取得、またグループ各社でも「OSHMS」手法を水平展開し、安全衛生管理水準のレベルアップを図っています。 \*JISHA方式適格労働安全衛生マネジメントシステム

## 海外工場への安全指導・支援

計画の進捗結果 ○

### ■タイ工場安全教育体系の構築

2017年4月、ローカル社員リーダー教育を実施し、教育受講者の中から安全教育担当者3名、クレーン・フォークリフト業務指導担当者4名を選出、新入社員に安全教育・指導を行なえる体制を構築しました。

### ■インド工場安全衛生管理状況調査

2017年9月、インド工場の安全衛生管理状況調査を実施し、安全管理体制、各種責任者の選任義務および有資格作業について、法令に基づき管理されていることを確認しました。あわせてインド工場の安全衛生巡察を実施、指導しました。



タイ工場 クレーン業務リーダー教育



## 地域社会とのかかわり

地域社会との連帯と協調を図るという事業行動基準に基づき、地域社会へのさまざまな協力活動を行なっています。また、自治体や公益法人、NPOなどが運営している各種協議会へ積極的に参加しています。

### 社会貢献への取り組み 計画の進捗結果

#### ぬまづフリーマーケットフェスティバル&消費生活展への参加

リユースによるエコの意識を高めようと毎年開かれるフリーマーケットへ静岡県産業廃棄物協会 東部支部(加盟21社)の会員企業とともに職場や家庭で「まだまだ使える」品物を提供、販売し、売上金を寄付しています。



#### ものづくり人材育成教育

「ものづくり人材育成協定」を2016年に静岡県と締結し、2017年度は、これから射出成形業務によるものづくりを考えている方、ステップアップを考えている方を対象とした射出成形技術の職業訓練に、講師の派遣と設備を提供しました。今後も「ものづくり人材」の育成に貢献します。



#### 新鮮野菜と手づくりパンの販売

沼津本社では毎週水曜日、「みどり作業所」様にパンの訪問販売の場所を提供しています。障がいを持つ方々に就労場所を提供することで、自立した日常生活や社会生活が送れるよう支援をしています。



#### 献血活動

赤十字血液センターが行っている献血に協力しています。2017年度は、沼津本社工場、御殿場工場、相模工場で各2回実施し、計169名が協力しました。



#### 資格取得事業への協力

(公社)静岡県労働基準協会連合会が実施している各種技能講習では、実技会場の提供、および技術指導員の派遣に協力しています。

##### 2017年度の実績

- |                   |                        |
|-------------------|------------------------|
| ・フォークリフト技能講習 4回   | ・玉掛け技能講習 6回            |
| ・床上操作式クレーン技能講習 6回 | ・クレーン運転業務特別教育(5t未満) 3回 |



## 教育・文化への取り組み

計画の進捗結果

#### 中学生職業体験

未来の「ものづくりの担い手」となる子どもたちの、望ましい勤労観、職業観を育む体験活動の場を提供しています。2017年度は近隣中学校の学生5名が2日間の体験学習に参加しました。



#### 蔵前理科教室

児童の理科に対する興味を呼び覚ますことを目的として活動している(一社)蔵前工業会は、全国で科学原理をテーマとした寺子屋方式の出前理科教室を開催しています。「くらりか」への支援を通じて、未来の科学者たちを育む活動を支援しています。



当社OBが講師を務め、子供たちがストロンボーン(ストローの笛)や牛乳パックでホイッスルをつくって演奏し、音の性質や伝わり方など楽しく学びました。

#### Tokai Formula Club(TFC)へのスポンサーシップ

2014年から支援しているTokai Formula Club(東海大学)は、2017年、「全日本学生フォーミュラ大会」の動的種目で2年ぶりの完走を果たしました。当社は、一生懸命に努力する学生の皆さんを応援しています。



## 環境への取り組み

計画の進捗結果

#### 緑のカーテンづくり

6月に植えたゴーヤやキュウリなどのツルが伸びて窓を覆い、建物内の温度上昇を抑える自然のカーテンになります。植物の蒸散作用(葉の表面から水分が蒸発すること)により周囲の気温も下がり、身近な地球温暖化防止対策として毎年継続しています。



#### 環境美化ボランティア活動の実施

地域社会や環境への貢献、美化意識の向上を目的とした工場周辺地域の清掃活動を、毎年実施しています。2017年度は、関係会社を含む10拠点で、従業員とその家族817名が参加し、清掃活動に取り組みました。



#### 社有車への取り組み

社内イントラで「エコドライブ10のすすめ」を掲示し、エコドライブ普及と促進に努めました。また、2017年度は新たに18台のハイブリッドカーを導入し、エコカー導入率は29.5%となりました。今後も、社有車および自家用車における環境負荷の低減を推進します。



# 環境への取り組み

東芝機械グループは、経営理念・行動基準に基づき、企業の社会的責任(CSR)として、法令遵守・環境調和型製品の提供・事業活動に関わる環境負荷低減に取り組み、持続可能な環境づくりに積極的に貢献します。

## 環境マネジメント

### 環境活動基本方針

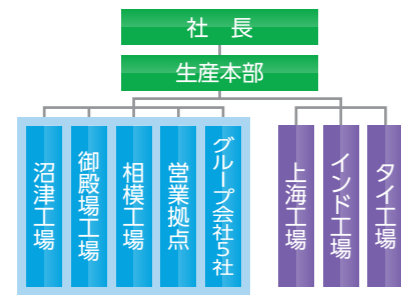
1. “かけがえのない地球”を、健全な状態で次世代に引き継いでいくための環境づくりに積極的に貢献します。
2. 環境に関する国際規格、関係する法令、協定、指針、自主基準等を遵守します。
3. 優れた環境調和型製品の開発・提供を通じて社会に貢献します。
4. 事業活動に関わる環境への負荷の低減、生物多様性の保全等に積極的に取り組みます。



\*環境活動行動基準・環境方針についての詳細は当社ホームページをご参照ください

### 環境マネジメントシステムの強化

グループ一体となった取り組みを実施するため、国内では1996年に沼津工場でISO14001の認証を取得して以来、生産拠点、営業拠点、グループ会社について認証範囲の統合と拡大を進め、環境マネジメント体制の強化を図っています。海外では2004年に上海工場、2012年にインド工場、2015年にタイ工場が認証を取得しました。



国内ISO14001システム範囲 海外生産拠点

またISO14001 2015年度版の移行にも取り組み、2017年度に完了しました。

### ISO14001 2015年版認証取得

計画の進捗結果



日本 上海 タイ インド

### 環境法令の遵守と、環境事故・苦情対応

各生産拠点では、法律の規制よりも厳しい自主管理基準値を設定し、大気・水域への有害物質排出による環境事故を未然に防ぐよう努めています。

また、環境施設の巡視による管理状況の確認を行なうとともに、届出や報告、基準の遵守などは、内部監査時、適正に行なわれていることを確認しています。

法規制の動向などはグループ内で情報を共有、環境関連資格を積極的に取得し、法令の管理レベルの向上を図っています。

2017年度は近隣住民から騒音の苦情が1件寄せられましたが迅速に対応し、その後、苦情は寄せられていません。

### 環境内部監査

各事業部で監査チームを結成し、相互監査の形式で約2カ月かけて環境内部監査を実施しています。

2017年度はISO14001 2015年度版への移行後、最初の内部監査ということもあり、とまどう監査団もありましたが、今後も継続した教育を行ない、理解を深めていきます。

2016年度はタイ工場のみ実施した海外生産拠点の内部監査は、2017年度に上海工場(5月)、インド工場(9月)でも実施しました。

### 環境教育・訓練(国内)

階層別教育と職能別教育のそれぞれに対応した教育や訓練を実施しています。経営層向けとしては外部講師を招き、最新の外部状況について講演会を開催しています。2017年度は「持続可能な目標(SDGs)に関する企業の取り組みについて」をテーマに講演いただき、社長以下80名が出席しました。

また、緊急時に備えた訓練を各部門で実施し、不測の事態に備えています。



## 環境会計

企業の事業活動に関わる環境保全活動のコストと効果を定量的に把握し、企業活動の指針として活用するため、環境会計を実施しています。

2017年度の環境保全コストは、設備投資として38,831千円、費用として1,203,355千円を投入しました。一方、効果額は、-50,210千円となりました。

### 環境保全コスト

単位:千円

分野	内容	投資	費用
事業エリア内コスト	①公害防止コスト	0	83,567
	②地球環境保全コスト	38,814	5,113
	③資源循環コスト	0	98,831
上下流コスト	グリーン調達、リサイクルなど	0	9,858
管理活動コスト	監視・測定、環境教育など	0	125,283
社会活動コスト	緑化、情報開示など	17	6,871
環境損傷コスト	土壌汚染修復など	0	93
合計		38,831	1,203,355

集計対象:東芝機械本体および国内関係会社5社 対象期間:2017年4月1日~2018年3月31日

### 環境保全効果

単位:千円

分野	内容	環境負荷低減量*	効果金額	効果金額の算出方法
実質効果	エネルギー(原油換算)	-602kl	-109,347	前年度に対し、電気料金や廃棄物処理費用などの節約または改善効果金額と有価物売却益の合計。
	廃棄物	-177t	3,050	
	用水	-24千㎡	-373	
みなし効果	排水関係(BOD, SS, 油分 N-HEX)	954kg	56,460	環境法令基準とACGIH-TLV(米国産業衛生専門家会議で定めた物質ごとの許容濃度)を基に、カドミウム換算した物質ごとの重み付けを行ない、カドミウム公害の賠償費用を乗じた金額を算出。大気・水域・土壌などへの環境負荷の削減量を金額換算して表示することで、異なる環境負荷を同一の基準で比較。
	大気関係(ばいじん、窒素酸化物、硫酸酸化物)	-732kg		
合計			-50,210	

\*環境負荷低減量は、2016年度と2017年度の差分。マイナスは、環境負荷の増大を示します。

## 環境アクションプラン

COP21の国際協定締結結果と国内外の動向を参考に、海外生産拠点を含め、2016年から2020年までの5年間の中期目標『第1次環境アクションプラン』と、2030年を最終年度とする長期目標を設定しました。また、中期目標の重点テーマは、製品の環境貢献の明確化、グローバル対応の強化としました。

2017年度の取り組み結果は、以下のとおりとなります。

基準年:2013年度

取り組み項目(指標)	第1次環境アクションプラン		長期目標2030年度	
	2017年度	2020年度		
環境調和型製品の提供	環境調和型製品によるCO <sub>2</sub> 削減貢献量拡大(t-CO <sub>2</sub> )	24,104 (187%)	25,390 (197%)	34,410 (267%)
地球温暖化の防止	CO <sub>2</sub> 排出原単位削減(t/億円)	22.4 (▲19%)	19.8 (▲28%)	16.5 (▲40%)
資源の有効活用	廃棄物排出原単位削減(t/億円)	2.83 (▲18.0%)	2.84 (▲17.5%)	2.07 (▲40%)
化学物質の管理	化学物質排出原単位削減(kg/億円)	68.7 (▲10.8%)	68.9 (▲10.5%)	53.9 (▲30%)
グリーンマネジメント	生物多様性保全(生態系ネットワーク)	富士山植樹活動参加	ビオトープ国内各工場・植林	森林育成事業協調
	再生可能エネルギー(未利用エネルギー使用)	太陽光発電で使用量の0.1%を発電	使用量の0.1%	拡大(含海外)、使用量の3%
	スコープ3の取り組み(上流・下流負荷の把握)	取り組み継続	環境負荷把握(含海外)	削減活動
	グローバルなEMS構築(海外現法との連携強化)	上海、インド工場内部監査・環境教育実施	外部インフラ調査、海外環境内部調査、海外工場環境リーダー育成	
海外	管理強化と環境負荷低減(管理レベル向上)	3生産拠点で目標設定	調査、管理規定確立、目標設定	管理強化と削減推進

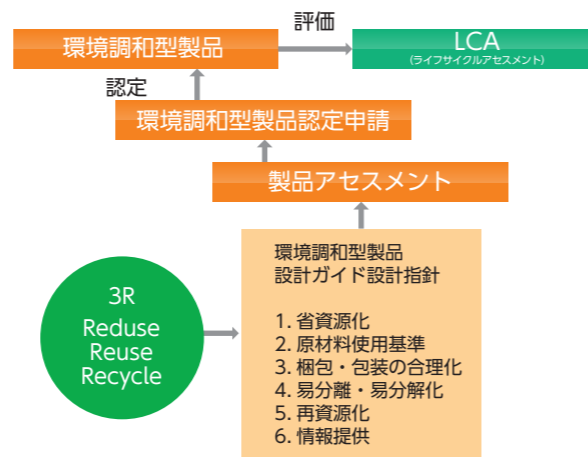
## 製品の環境配慮

東芝機械グループは、より環境負荷の少ない製品をお客様にご提供するために、環境調和型製品の開発を積極的に進めています。

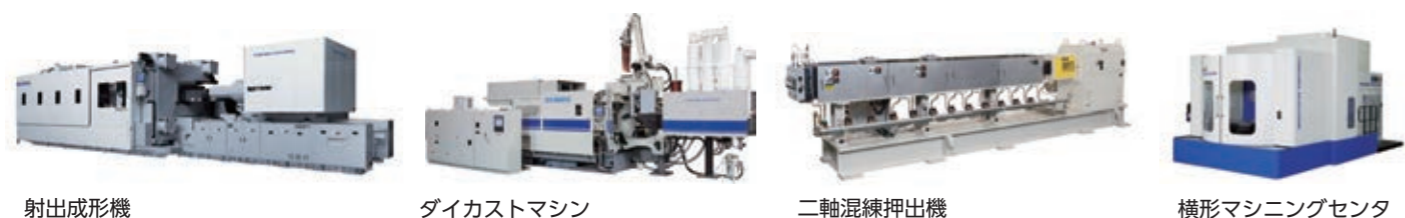
### 環境調和型製品の開発

新製品の開発段階から、環境への影響を事前に評価する「製品アセスメント」を実施し、環境負荷の低減を図っています。技術部門では、設計指針と3Rを考慮した「環境調和型製品設計ガイド」に基づき、開発を進めています。

完成後に環境調和型製品認定申請書により評価を行ない、認定を受けた製品が環境調和型製品として登録されます。2017年度は42機種が新規登録され、累計登録件数は525機種となりました。



### 環境調和型製品の紹介

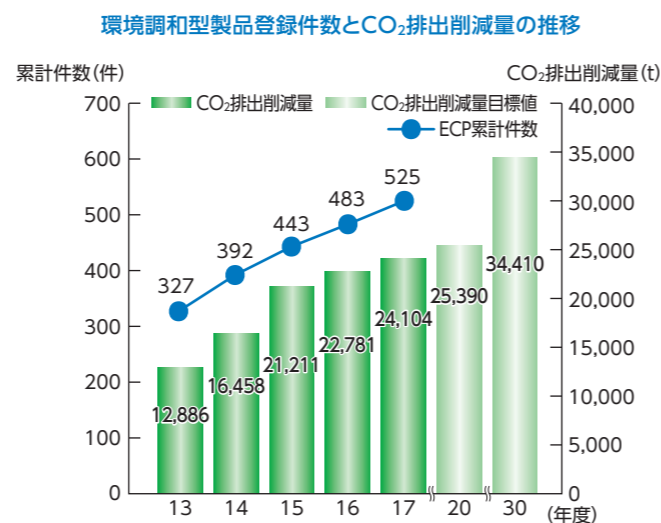


### 製品の環境負荷低減

環境調和型製品として登録されたすべての製品に対し、原材料、製造、使用、リサイクル、廃棄までの東芝機械グループ基準によるライフサイクルアセスメント(LCA)評価を行なっています。さらに、一部製品では従来機種との比較を行ない「CO<sub>2</sub>排出削減量」\*を算出しています。

\*従来機種から省エネルギー性能の高い環境調和型製品への置き換えにより削減できたとみなすCO<sub>2</sub>排出量

製品の環境負荷低減への取り組みでは、2020年度の中期目標を「CO<sub>2</sub>排出削減量25,390t」として活動を行なっています。2017年度は環境調和型製品の売上向上や製品のさらなる省エネルギー化に取り組み、CO<sub>2</sub>排出削減量は24,104t(前年度比5.8%増)となり、中期目標達成に向け順調に推移しています。



### 製品使用段階のCO<sub>2</sub>排出削減量への取り組み

東芝機械グループ製品は、長年使用していただける製品が多く、「製品使用段階のCO<sub>2</sub>排出量」がライフサイクル全体のCO<sub>2</sub>排出量の大部分を占めています。そのため、製品の省エネルギー性能を高めて製品使用段階のCO<sub>2</sub>排出量を削減することで、製品の環境負荷低減に努めています。

### 取り組み事例

自動車クランクシャフト加工用液体ホーニング装置 LH-12M

従来機種の搬送系を見直し、全負荷時の電力消費量を13%削減、サイクルタイム20%短縮を実現しました。また、製品使用段階のCO<sub>2</sub>排出量を従来機種より1.6t/年削減しました。



## 地球温暖化防止

エネルギー管理部門は、地下水の利用を促進し、エネルギー効率のよい設備の導入や更新に向けた省エネチェックをはじめとする環境アセスメントを行なうとともに、他部門に対し、これまでの取り組み事例や最新の省エネ技術に基づいた適切なアドバイスを実施し、積極的に地球温暖化防止に努めています。

2017年度は2013年度比CO<sub>2</sub>売上原単位\*19%減の目標で取り組み、結果、19%減を達成しました。

\*売上原単位：売上高に対するCO<sub>2</sub>の排出原単位

### 鋳物電気炉の溶解温度見直し

出湯作業 ⇒ 注湯・配湯作業



ダクタイル鋳鉄(FCD)を溶解する際、出湯した後の待ち時間や配湯作業を改善することで、鋳物電気炉の溶解最高温度を1470℃→1460℃に変更しても、品質が確保できることを確認しました。この見直しにより、電力の使用量を年間44.2万kWh削減しました。

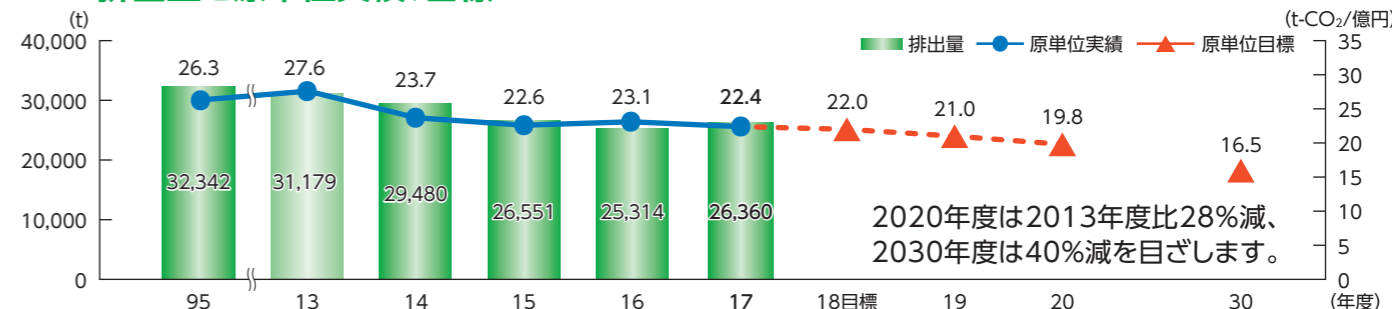
### 再生可能エネルギーの活用



2017年度から本格稼働している御殿場テクニカルセンターに設置した太陽光発電装置は、1年間で、東芝機械国内グループの全電気使用量の約0.1%に相当する約6万kWhを発電しました。

発電した電力は、御殿場工場で自己消費するほか、緊急時は、緊急本社機能設置場所の非常電源としても利用します。

### CO<sub>2</sub>排出量と原単位実績、目標



### TOPICS

#### 2017年度静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞受賞

削減対策 「地下水利用による空調の省エネ化(ターボ空調機導入)」

静岡県では、「静岡県地球温暖化防止条例」に基づき、地球温暖化防止に顕著な功績のあった個人または団体に対し、その功績をたたえるため、知事が表彰を行なっています。当社は2017年度静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞の温室効果ガス排出削減対策部門 大企業等の部で県知事褒賞を受賞しました。



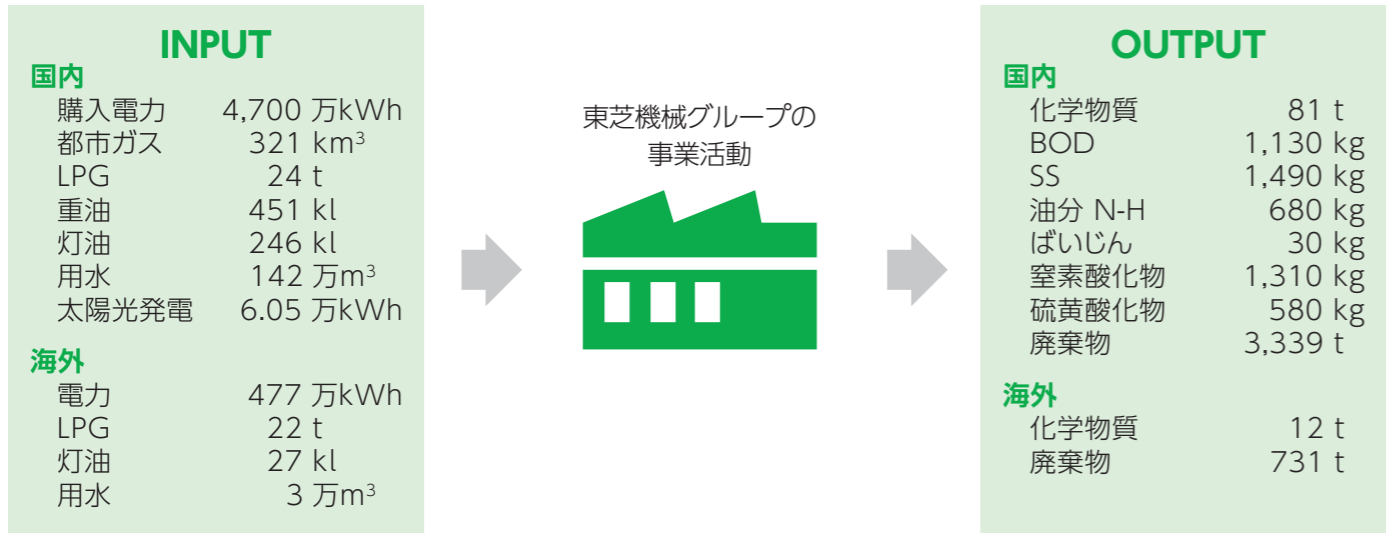
ターボ空調機

1962年の大型工場建設時、あまり活用されていなかった富士山からの地下水を利用した空調省エネ・効率化システムを導入し、以降も運転方法を連続運転から間欠運転に変更するなど継続した改善を実施しました。さらに、静岡県環境衛生科学研究所の「地下水熱交換システム適地評価に関する研究」に協力し、地下水熱利用促進に貢献したことが評価されました。

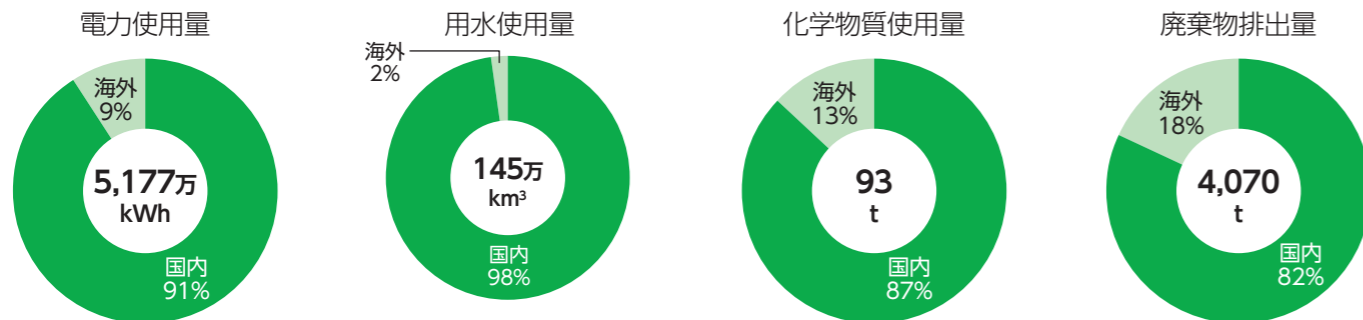


## 事業活動にともなう環境負荷

製品開発、製造、サービス活動など事業活動にともなう環境負荷について、継続的にデータを収集・分析し、環境負荷を低減する取り組みを積極的に行なっています。



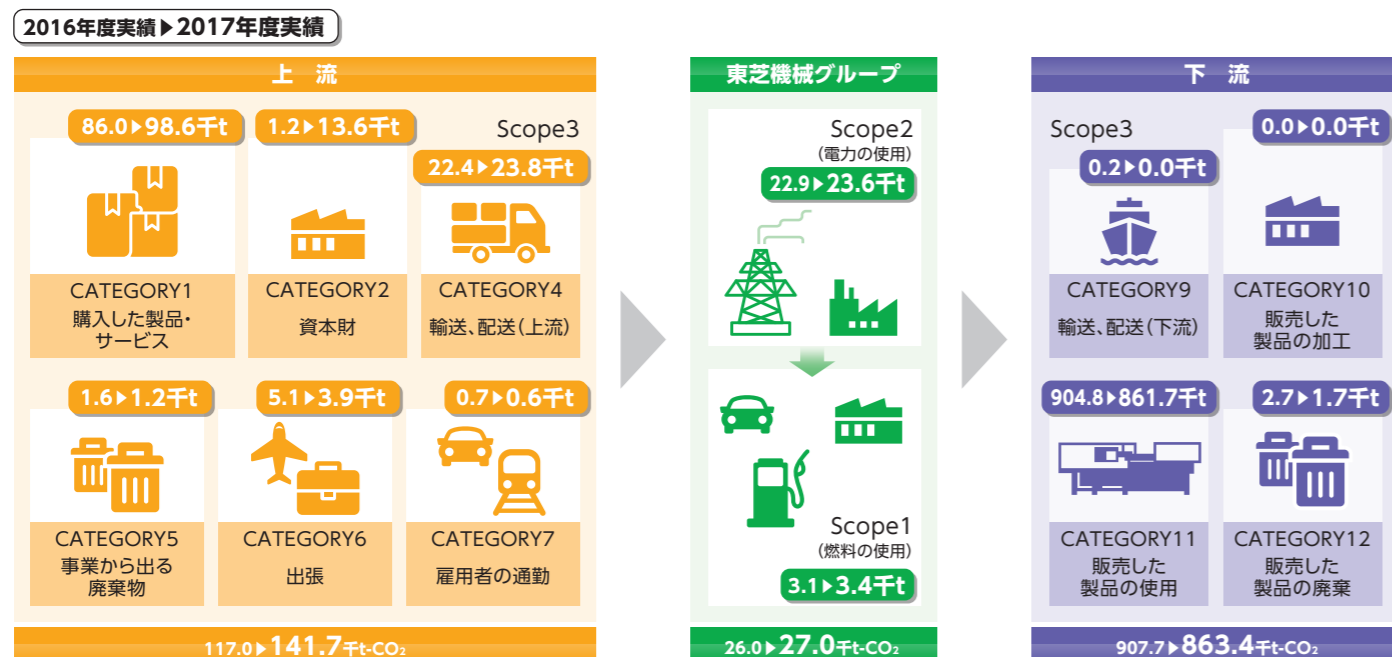
### 国内工場と海外工場の環境負荷割合



### サプライチェーン全体の環境負荷

2015年度より、環境省のガイドライン\*1に基づく算定手法で、サプライチェーン全体のCO<sub>2</sub>排出量の把握、算定をしています。\*2

\*1 サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン。  
\*2 15カテゴリーのうちCATEGORY3、8、13、14、15は業種として該当しません。



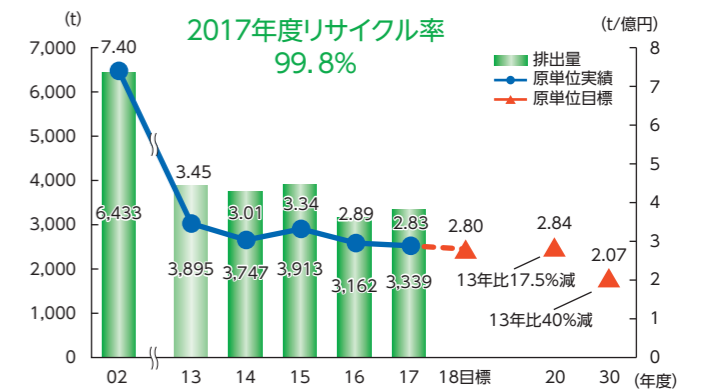
## 資源の有効活用

工場から排出される廃棄物の最終処分量1%以下を目ざすとともに、環境アクションプランでは、2020年度は2013年度比17.5%の削減を目標としています。

2017年度の廃棄物排出量は3,339tで、売上増による生産量、海外調達品の増加が要因で、2016年度と比較すると177t増加しました。原単位評価では、2.83t/億円となり2016年度の2.89t/億円から2%改善しました。

今後は、最適な金枠使用による鋳物廃砂の削減、通箱の有効活用などで効率を高めていきます。

廃棄物排出量と原単位実績、目標



## 汚染防止

### 大気汚染物質

大気汚染物質の排出量は、ばいじん、窒素酸化物、硫黄酸化物とも大きな増減はありませんでした。各生産拠点では、省エネ活動を継続して実施し、沼津・相模・御殿場工場の鋳物溶解炉、ボイラー等全特定施設で、排出基準・協定値を下回っています。

### 水質汚濁物質

御殿場工場は、テクニカルセンターの新設で工作機械生産の拠点となり負荷量が増加しましたが、水質汚濁物質は減少し、沼津・相模・御殿場工場、不二精機において排出基準・協定値をクリアしました。

### VOCの排出

VOC規制対象となる沼津工場の塗装施設では、排出基準、沼津市協定値をクリアした状況を保っています。また上海工場ではVOC除去装置を3機設置し、大気汚染低減を図っています。

### PCB含有電気機器廃棄物の保管・処分

高濃度PCB含有電気機器廃棄物は、順次専門処理業者へ処分依頼するとともに、工場内に残留していないか調査を継続しています。



相模工場での搬出作業

低濃度PCB含有電気機器についても順次処分しています。

### 騒音・振動・悪臭への対応

騒音・振動は、グループ各社・工場の規制基準を全ての箇所・時間帯ともクリアしました。また悪臭は、規制された全ての対象工場境界で基準を満たしていることを確認しています。

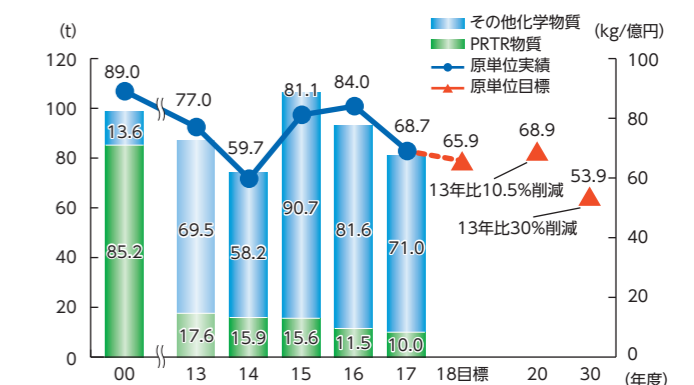
### 土壌・地下水汚染への対応

沼津工場第14工場の六価クロム汚染土壌について、周辺地下水のモニタリングを継続しており、汚染の拡大がないことを確認しています。

## 化学物質管理

PRTR対象物質の非含有塗料、シンナー類のリサイクル、塗料の水溶性化、塗装方法の改善などで化学物質を削減しています。鉛については、プリント基板等のはんだ鉛フリー化を順次進めており、新製品は全廃しています。

化学物質排出量と、原単位実績、目標



## 生物多様性保全への取り組み

計画の進捗結果

### 富士山の植樹活動

富士山ナショナルトラスト(NPO法人)が主催する、富士山御殿場口の植樹大会へ25名が参加しました。この活動は、宝永噴火によって大砂礫地となった富士山東南麓の崩壊を、緑化によって防ぐことを目的としています。



### 廃棄物の不法投棄撲滅活動

静岡県産業廃棄物協会による不法投棄パトロール、不法投棄撲滅街頭キャンペーンに参加し、ゴミの不法投棄撲滅、廃棄物不法投棄110番のPRを行ないました。



### 相模川クリーン推進運動

県央地域不法投棄撲滅キャンペーン(神奈川県)に参加しました。相模川グランドから座架依橋付近約2キロメートルにわたり、可燃ごみ、不燃ごみを回収しました。



#### VOICE

相模川では長年の活動によって、不法投棄は年々減少傾向にあるそうです。私は今回、初めて相模川クリーン推進運動に参加しましたが、環境活動は今後も継続させることが重要だと思いました。清掃後、綺麗になった相模川を眺めると清々しく感じました。



相模業務担当 渡邊 浩司

## グローバルなEMS構築

計画の進捗結果

東芝機械グループでは、海外生産拠点(上海・タイ・インド)で、環境マネジメントシステム(EMS)※の整備・運用状況、現場の管理状況について内部監査を実施しています。

2016年度はタイ工場、2017年度は上海工場とインド工場を訪問し、監査しました。各拠点ではISO14001の認証を取得しており、2017年度に2015年度版への移行を完了しました。

今後は、各拠点での環境管理レベル向上とキーマン教育に重点を置き、日本からのガバナンス強化を進めていきます。

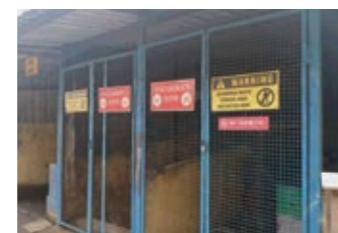
※企業活動などが引き起こす環境に対する影響を改善するため、効率的、効果的に実行する仕事の仕組み



上海工場 VOC処理装置



上海工場 電子インフォメーションボード



インド工場 分別廃棄



インド工場 インフォメーションボード

### 海外生産拠点での環境目標と取り組み

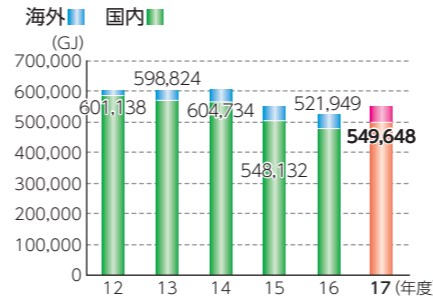
基準年:2016年度

	CO <sub>2</sub> 排出量		廃棄物総排出量		化学物質排出量	
	目標値	2017年度	目標値	2017年度	目標値	2017年度
上海工場	▲8.6%	+22%	▲4.7%	+23%	▲37.5%	+8%
タイ工場	▲5%	+20%	▲10%	▲7%	—	—
インド工場	▲1%	▲0.9%	—	—	有害物質の最小化または代替(1件)	有害物質の最小化または代替(1件)

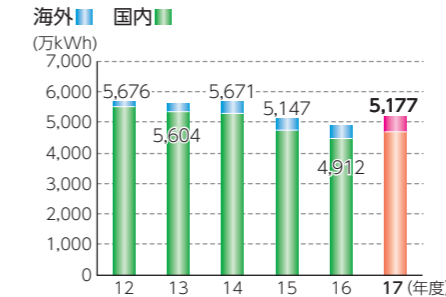
## 環境データ編

### INPUT OUTPUT グラフ

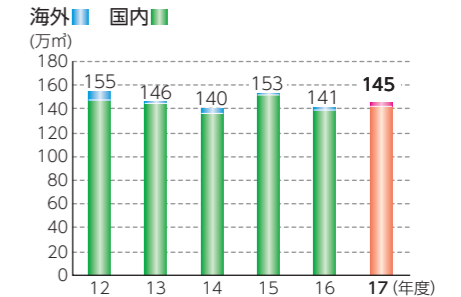
#### エネルギー使用量推移



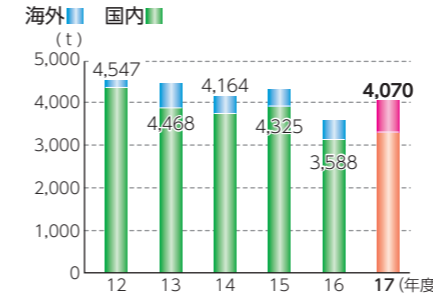
#### 電力使用量推移



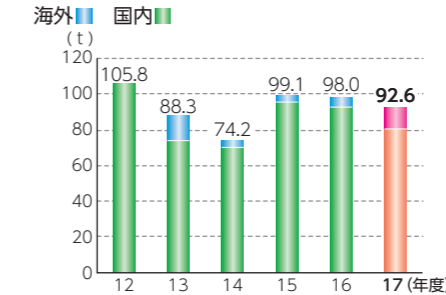
#### 用水使用量推移



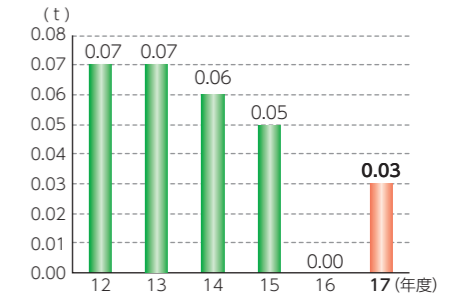
#### 廃棄物排出量推移



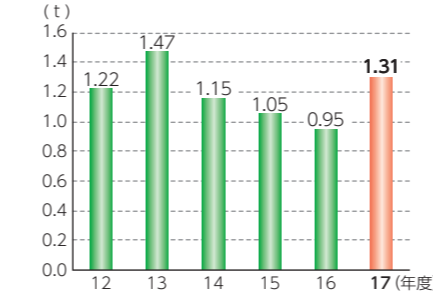
#### 化学物質排出量推移



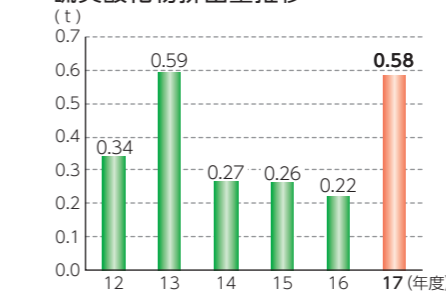
#### ばいじん排出量推移\*



#### 窒素酸化物排出量推移\*



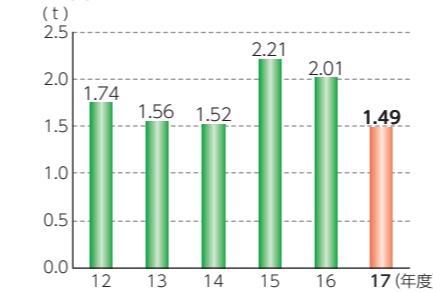
#### 硫酸酸化物排出量推移\*



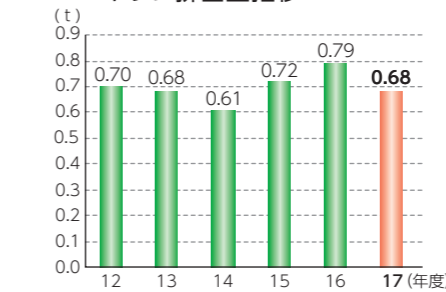
#### BOD排出量推移\*



#### SS排出量推移\*



#### n-ヘキサン排出量推移\*



※国内のみのデータ

### 環境責任者ごあいさつ

国連ではSDGsが採択され全世界がベクトルを合わせて進むべき道が示されています。また、機関投資家は企業の評価でESGなどの非財務情報を重視するようになるなど企業に対する環境への期待度が高まる中、東芝機械グループは、経営理念や行動基準に基づき、企業の社会的責任(CSR)として、「かけがえない地球」を健全な状態で次世代に引き継ぐため、「東芝機械グループ環境方針」を制定し、環境の保全や資源の保護に配慮した、自然環境にやさしい企業経営に取り組んでいます。

環境方針を推進するための行動指針として、(1)環境活動の継続的改善、(2)環境調和型製品の開発・提供、(3)省資源、省エネルギーと資源の有効な活用の促進、(4)汚染の予防、

(5)環境パートナーシップの推進を提起し、事業部門、管理部門が一体となり、活動しています。

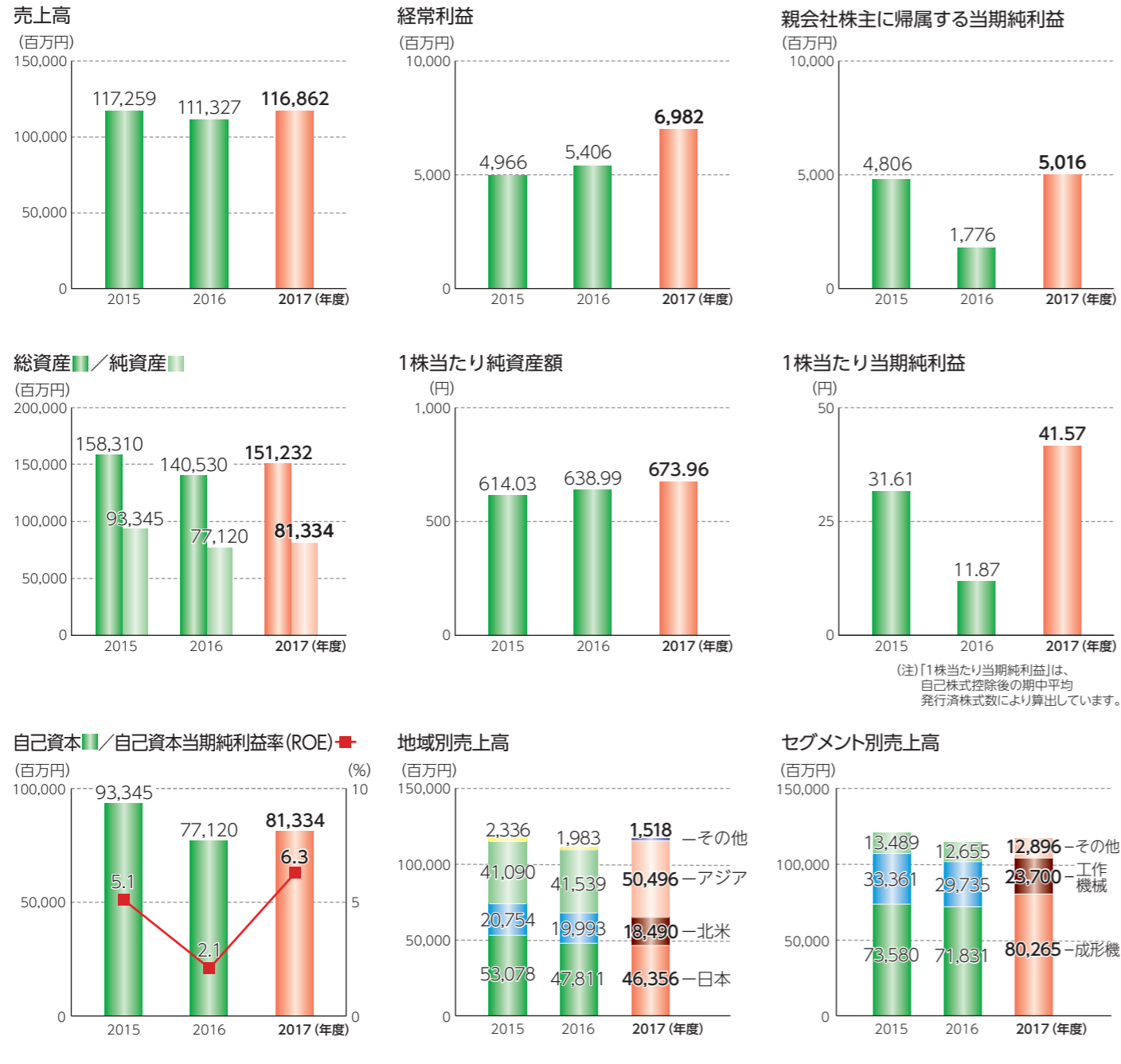
当社の置かれている状況を的確に把握し、企業のありかた、存在価値を高めるべく、事業活動とリンクした環境活動に注力していきます。環境保全・保護は当たり前なこととして継続し、さらに環境貢献・環境改善の視点も加えて、地球環境を守るため、我々社員一人ひとりが継続して環境経営の推進に積極的に携わり、ステークホルダーの皆様と協力しながら、持続可能な社会の構築に貢献していきたいと考えています。



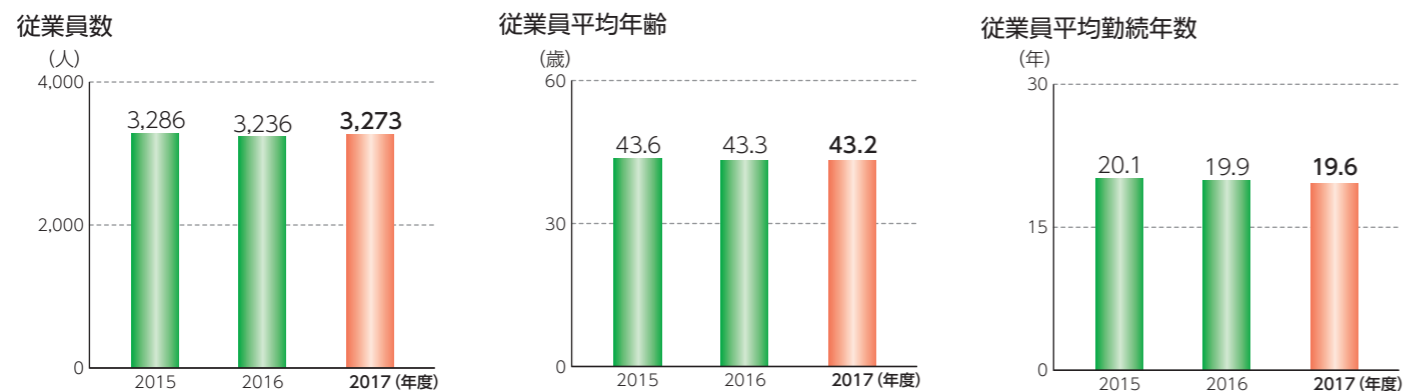
取締役常務執行役員 後藤 英一

# 財務・非財務ハイライト

## 財務情報



## 非財務情報



## 第三者意見



株式会社日本総合研究所  
理事 足達英一郎

第6回目となる「CSR報告書」を通じて、「新生東芝機械グループ」の1年あまりの軌跡を知ることができました。この間、自動車のモデルチェンジ増加に伴うダイカストマシンの更新需要、自動車軽量化ニーズ拡大による射出成形機の需要増加、中国でのEV市場拡大によるリチウムイオン二次電池セパレーター用押出成形機の需要増加などの期待から、株主・投資家の大きな関心を集めました。2017年度の経常利益や1株当たり当期純利益も大きく改善し、2016年度からスタートした中期経営計画の二つの基本方針、「高収益体質への変革」と「選択と集中」とも整合性ある結果となりました。

20頁にある「株主・投資家とのかかわり」では、2017年度に国内外の投資家とIRミーティングを積極的に実施したことが報告されています。前年度対比でも対話回数は大幅に増加しており、初の海外IRを実施されるなど、株主・投資家への配慮を強めておられる点の評価いたします。環境・社会・ガバナンスの要素を投資判断で重視する、いわゆるESG投資家の裾野は広がっています。株主・投資家への配慮を強めていくことは、東芝機械グループのCSR取り組み強化と決して矛盾するものではなく、むしろ取り組みを後押しすることにも繋がります。今後、対話の中身なども可能な範囲で紹介いただくと理解が深まるでしょう。

9～10頁に掲載の「特集2 多様な人材が活躍できる職場づくり」は興味深く拝読しました。ここでは、国内在籍の外国人社員の活躍の様子が紹介されていますが、今後も人物本位の採用と適材適所の人事政策の実際を率直に報告していただきたいと思います。22頁には、東芝機械(株)のみとの但し書きはあるものの、2017年度の平均勤続年数が19.6年で

あること、女性の平均勤続年数(21.3年)が男性の平均勤続年数(19.4年)を上回っていることが示されています。これらの事実は、東芝機械グループが「長く勤められる」職場環境を実現していることを連想させるものであり、技術やノウハウの伝承が必須となる事業特性に照らして、東芝機械グループの競争力の一端を物語るものとなっていると感じました。

2頁のトップメッセージには、今年初めて「当社グループは、国連の持続可能な開発目標(SDGs)で示された内容を理解し、豊かな地球環境、豊かな社会等の持続を旨とし、企業としての役割を果たしてまいります」とSDGsに言及する一文が加わりました。SDGsは採択からほぼ3年が経過しましたが、2017年11月に経団連がSociety 5.0の実現を通じたSDGsの達成を柱として企業行動憲章を改定したことから、わが国産業界での関心も高まっています。

今年の「CSR報告書」では、自社の製品・サービスがSDGsの達成にどう貢献できるかは分析されていませんが、是非、次回の報告書では開示を期待いたします。その手がかりは、既に本書のなかにもあり、8頁には「射出成形機では、自動車の軽量化に役立つ樹脂部品を成形し、省エネルギー・低燃費等によるCO<sub>2</sub>削減に貢献しています」という記述があります。SDGsの17の目標、169のターゲットに紐づけて、こうした貢献をどこまで想起することができるか、全社横断的に議論していただきたいと思います。

同時に、SDGsの17の目標、169のターゲットを起点にして、製品・サービスのイノベーションを発想するプロセスにも挑戦していただきたいと思います。例えば、ターゲット14.1では「あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減すること」を謳っています。マイクロプラスチックによる海洋汚染は、今日、その代表例であり、射出成形機メーカーとしても問題解決への貢献の道筋があるかも知れません。B to B企業であったとしても、広い視野で社会課題解決に道を拓く可能性を、東芝機械グループには期待しています。

社会的責任投資のための企業情報の提供を金融機関に行っている立場から、本レポートを通じて理解した東芝機械グループの環境・社会・ガバナンス側面の諸活動ならびにその情報開示のあり方に関し、第三者意見を提出したものです。このコメントは、本レポートが、一般に公正妥当と認められる環境報告書等の作成基準に準拠して正確に測定、算出され、かつ重要な事項が漏れなく表示されているかどうかについて判断した結論を表明するものではありません。

### 「ご意見を受けて」

「東芝機械グループCSR報告書2018」をご覧いただき、さまざまな角度からご意見を頂戴し、ありがとうございました。足達理事のご意見にありましたように、「新生東芝機械グループ」としてスタートした当該年度において、世界の潮流に関心を示しながら、従来から推進してきた事業活動、地域活動、環境活動等を通じて、皆様からご理解とご信頼をいただけてまいりました。

### 本書への感想・ご意見

〒410-8510 静岡県沼津市大岡 2068-3 東芝機械株式会社 総務部  
TEL (055) 926-5141 FAX (055) 925-6501 <https://www.toshiba-machine.co.jp/contact/index.html>  
※「製品・サービス以外についてのお問い合わせ」フォームに入力し、ご送信ください。

私たち東芝機械グループは、今後も、豊かな価値を創造し社会に貢献するとともに、健全な地球環境を守るための役割を果たし、皆様のご期待やご要望に応える企業を目指してまいります。私たちの進めるCSR活動につきまして、皆様の率直なご意見・ご感想がございましたら、ぜひお聞かせください。

## 標語・ポスターの優秀作品のご紹介

東芝機械グループでは、各月間行事の一環として、標語・ポスターを広く募集しています。その中で優秀作に選ばれた作品を紹介します。

### 環境月間

環境保全意識の普及と啓発を図る取り組みとして、標語・ポスターの募集を行なっています。

節電は我が家も会社も関係なし  
今日からあなたが節電奉行



### 品質月間

品質意識の高揚、製品やサービスの質向上への取り組みとして、標語の募集を行なっています。

品質は創意と工夫とたゆまぬ改善  
顧客の満足 勝ち取る信頼

### 交通安全県民運動

交通安全に対する関心と意識向上のための取り組みとして、標語・ポスターの募集を行なっています。

「お先にどうぞ」「ありがとう」  
心の余裕で安全運転



## 東芝機械株式会社

URL: <http://www.toshiba-machine.co.jp/>  
〒410-8510 静岡県沼津市大岡 2068-3

### 全体のお問い合わせ先

総務部  
TEL: (055) 926-5141 FAX: (055) 925-6501

### 環境関係のお問い合わせ先

グローバル生産統括部  
TEL: (055) 926-5021 FAX: (055) 925-6537

本報告書の制作、印刷にあたって、次のような配慮をしています。



VOC (揮発性有機化合物)  
成分ゼロの100%植物油  
インキを使用し、「水なし印刷」  
で印刷しています。



間伐に寄与する紙の使用  
東芝機械グループは、静岡県の豊かな  
森林づくりをサポートしています。この  
「ふじのくに森の町内会」の紙には、林地  
に捨てられる間伐材を、資源として活用  
する費用が含まれています。



東芝機械グループCSR  
報告書の印刷で使用  
する電力1,000kwhは  
風力発電によるグリーン  
電力を利用しました。